

# アルミ軽量ひさし RS バイザー

## RS-KB2 型 施工要領書

確実な施工を行い、製品の安全を確保するため、施工前にこの「施工要領」を必ずお読みください。



出幅 1500mm 以下  
ステーなし



出幅 1500mm 超え  
ステー付き

### — 目 次 —

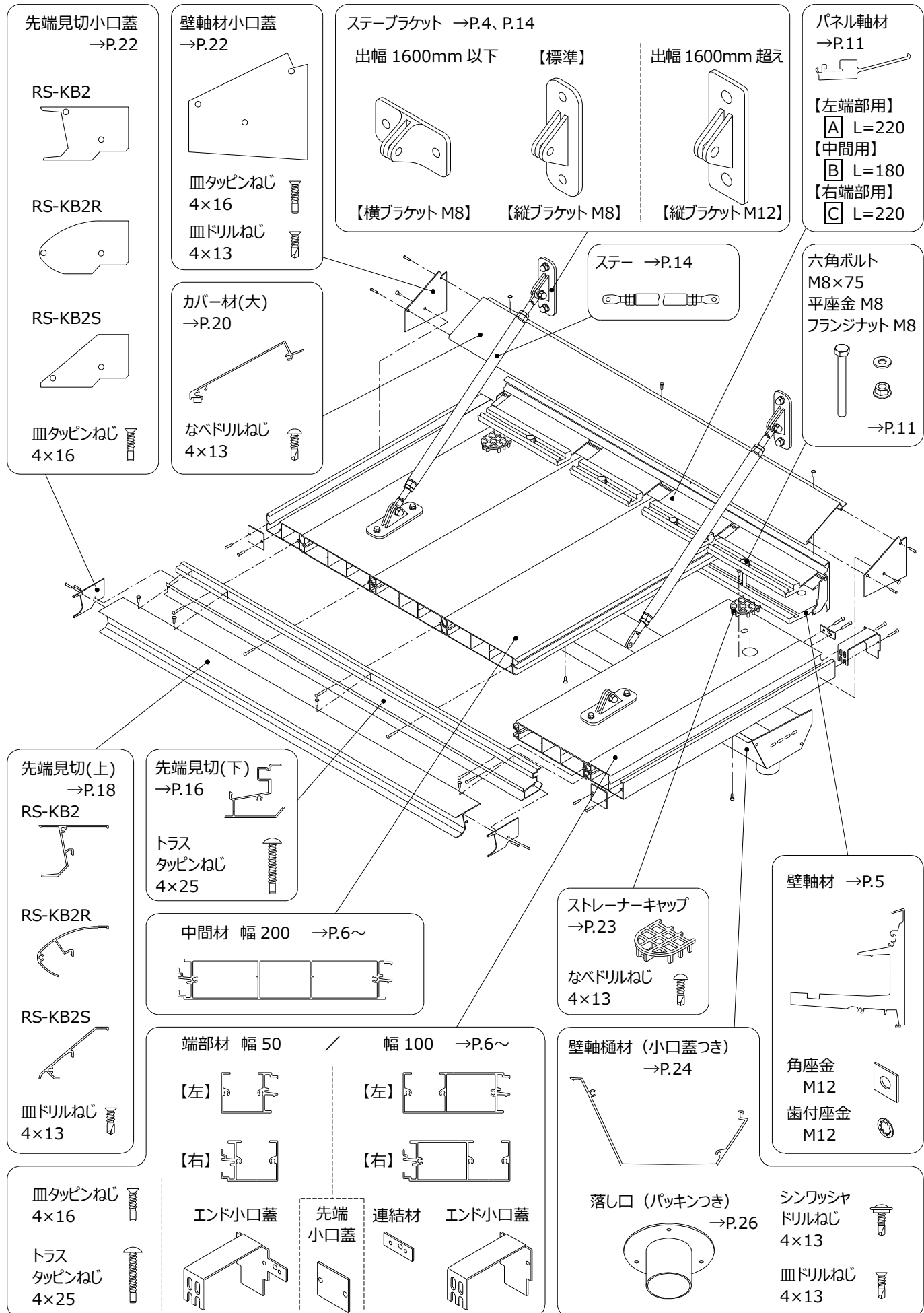
|              |       |
|--------------|-------|
| 施工上の注意点      | 1     |
| 部材名称         | 2     |
| 施工手順         | 3～27  |
| 【オプション】LED照明 | 28～31 |
| 施工確認チェックシート  | 32    |

### 施工上の注意点

- ☐ 転落や破損の恐れがありますので、底に乗ったりぶらさがったりしないでください。
- ☐ ねじやボルトは全て確実に締めてください。
- ☐ 施工後、ねじやボルトにゆるみやガタつき、その他使用上危険な箇所等がないか確認してください。
- ☐ 底の角度は指定角度範囲内で使用してください。
- ☐ 正規の施工方法以外での取付けや、改造等を行わないでください。

※ 改良のため、予告なく製品の一部を変更する場合があります。御了承ください。

## ■ 部材名称



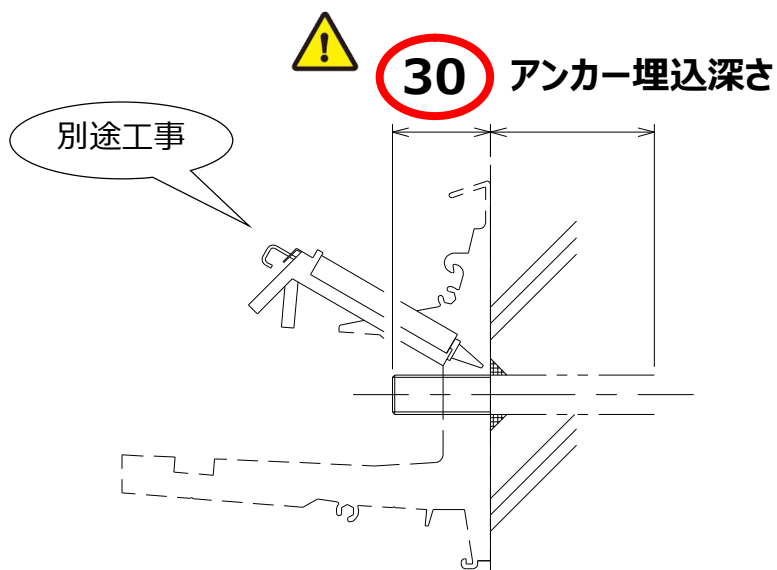
# ■ 施工手順

## 1. 墨出しをする

アンカープランに従い、墨出しを行ってください。

## 2. 壁軸材の取付ボルトを準備する

- ボルト出し長さは 30mm です。



### 準備するもの

- 取付ボルト M12（別途）

### ！ 注意

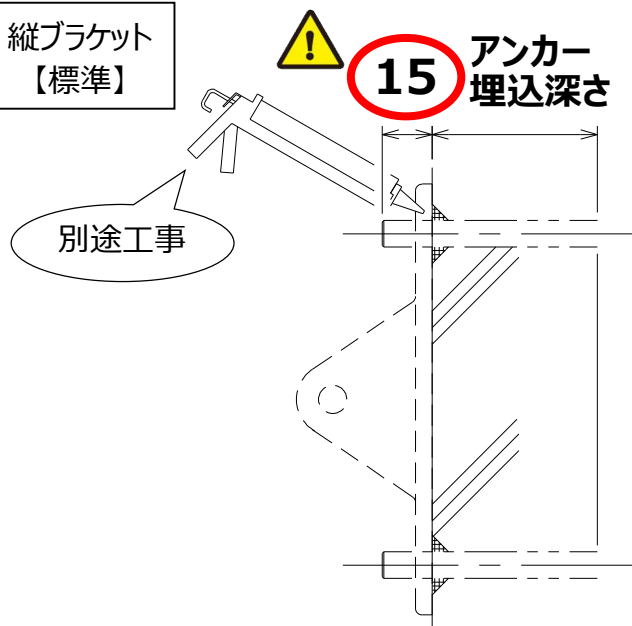
- ☑ アンカーの埋込深さは、仕上モルタルやタイル等の仕上材厚さを含まず、躯体部分に確実に入るようにし、規定寸法を確認してください。
- ☑ あと施工アンカーによる施工は RC 躯体のみです。
- ☑ アンカー取付位置については、アンカープランにてご確認ください。
- ☑ アンカーは、アンカーに発生する引抜力に対し、十分安全であることを確認し使用してください。
- ☑ 躯体によりアンカーピッチを変更する場合は、壁軸材に新設穴をあけて取付けてください。アンカー数は減らさないでください。

### 3. ステーブラケット取付ボルトを準備する（ステー付きのみ）

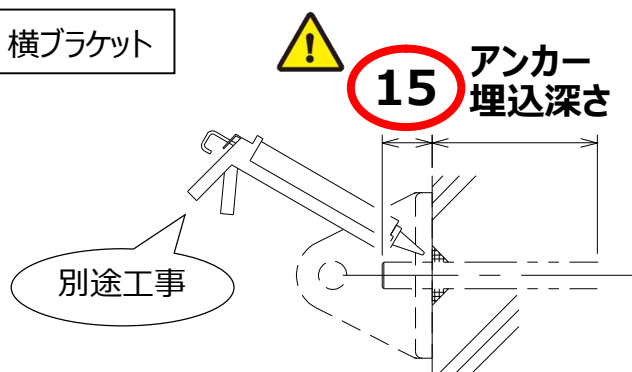
#### 出幅D 1600mm 以下（M8）

- ボルト出し長さは 15mm です。

縦ブラケット  
【標準】



横ブラケット

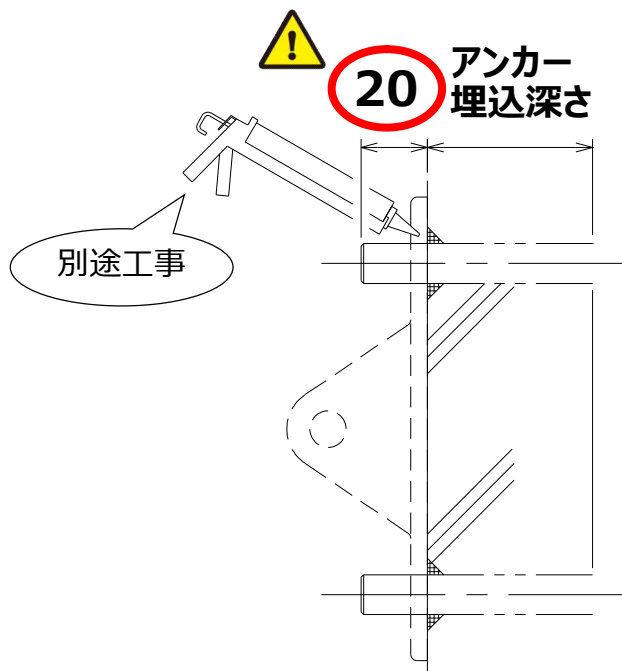


#### 準備するもの

- 取付ボルト M8（別途）

#### 出幅D 1600mm 超え（M12）

- ボルト出し長さは 20mm です。



#### 準備するもの

- 取付ボルト M12（別途）

#### ⚠ 注意

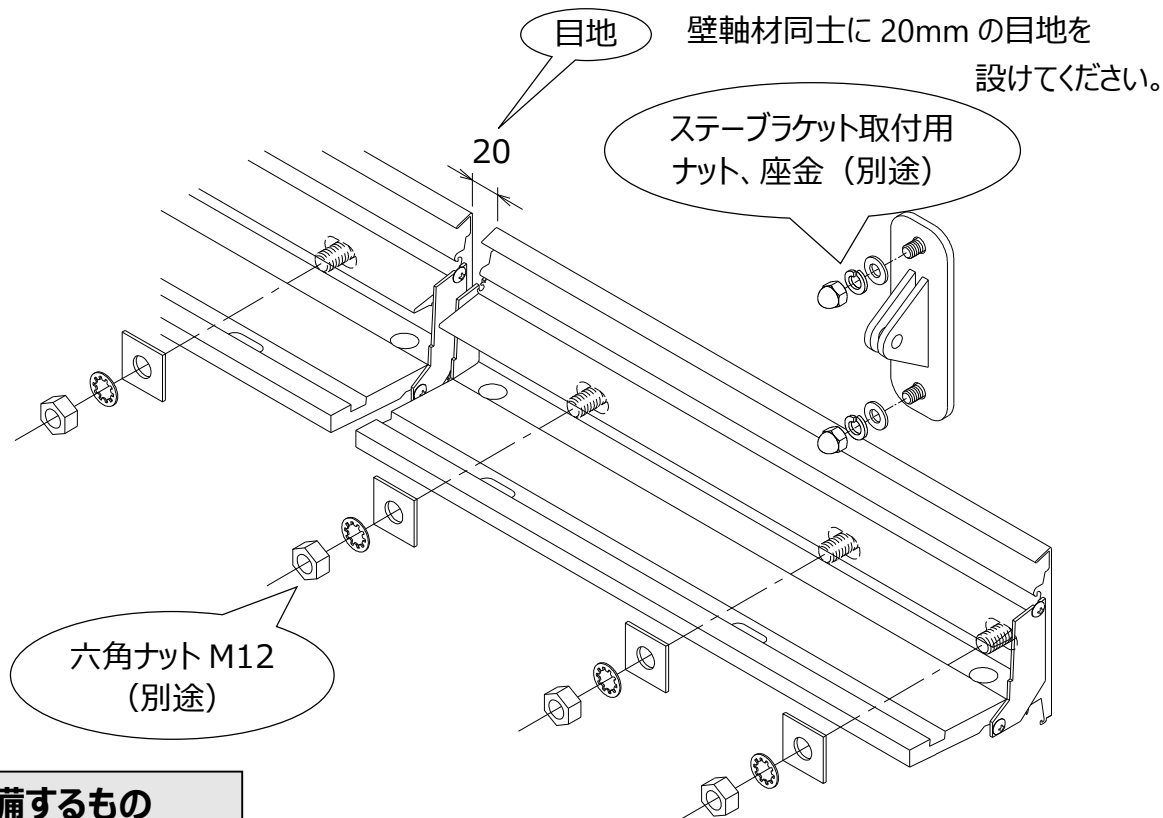
- ☑ アンカーの埋込深さは、仕上モルタルやタイル等の仕上材厚さを含まず、躯体部分に確実に入るようにし、規定寸法を確認してください。
- ☑ あと施工アンカーによる施工は RC 躯体のみです。
- ☑ アンカー取付位置については、アンカープランにてご確認ください。
- ☑ アンカーは、アンカーに発生する引抜力に対し、十分安全であることを確認し使用してください。

## 4. 壁軸材、ステーブラケットを取付ける

**⚠ 壁面の出入りを調整し、壁軸材とステーブラケットを取付けてください。**

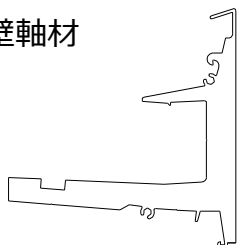
壁軸材は角座金と歯付座金を使用し、取付ボルトを本締めします。

### 壁軸材を 2 本以上取付ける場合



### 準備するもの

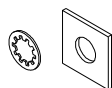
#### ● 壁軸材



#### ● 角座金 □32 t 2.3

#### ● 歯付座金 M12

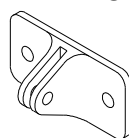
#### ● 六角ナット M12 (別途)



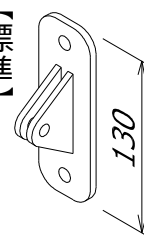
#### ● ステーブラケット

出幅 1500mm 以下

→ M8

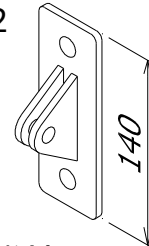


【標準】



出幅 1500mm 超え

→ M12



#### ● ステーブラケット取付用ナット、座金 (別途)

### ⚠ 注意

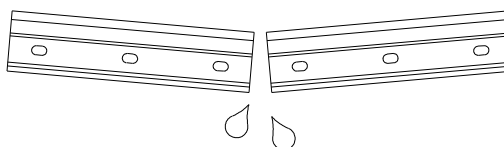
壁軸材を 2 本以上取付ける場合、目地部が谷にならないようにしてください。



水平／八の字



V 字



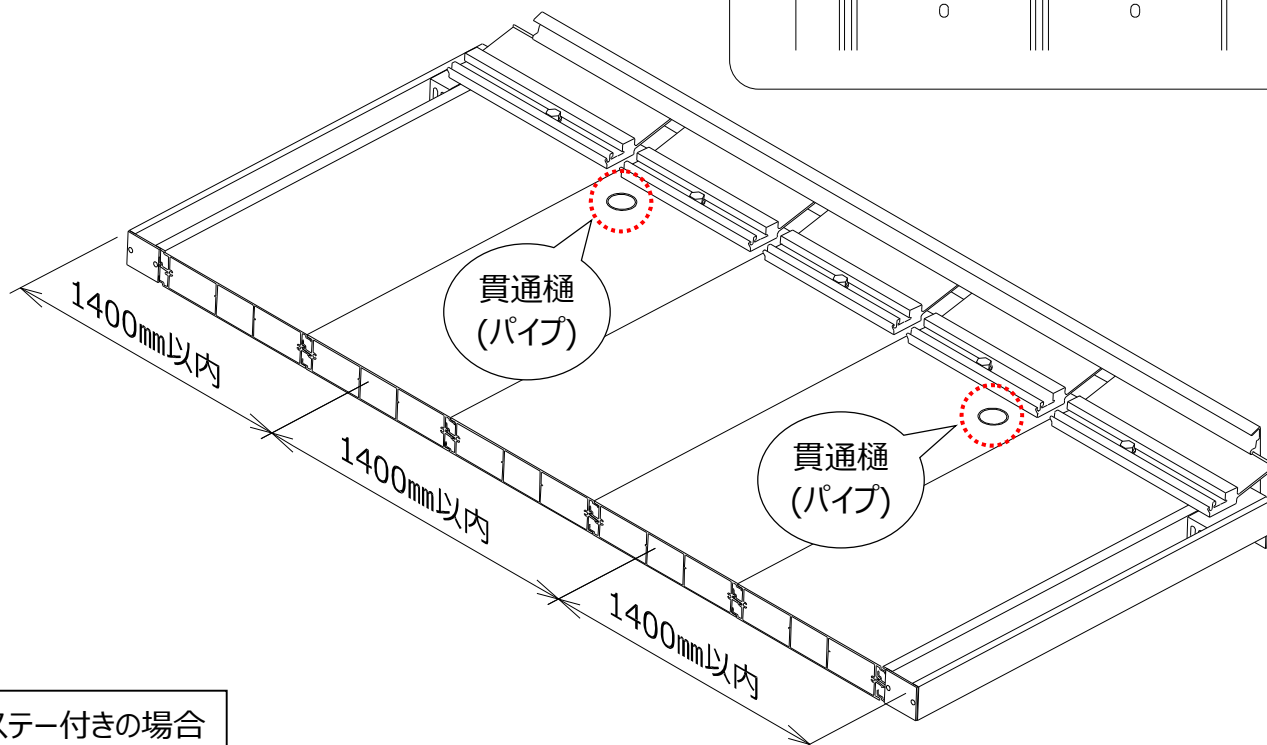
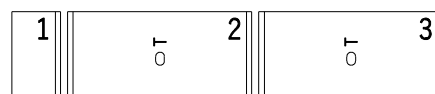
## 5. 貫通樋付き中間材を割り付ける

### ステー無しの場合

貫通樋（パイプ）付き中間材（※）を  
1400mm 以内で割り付けてください。  
（※）底幅が小さい場合はありません。

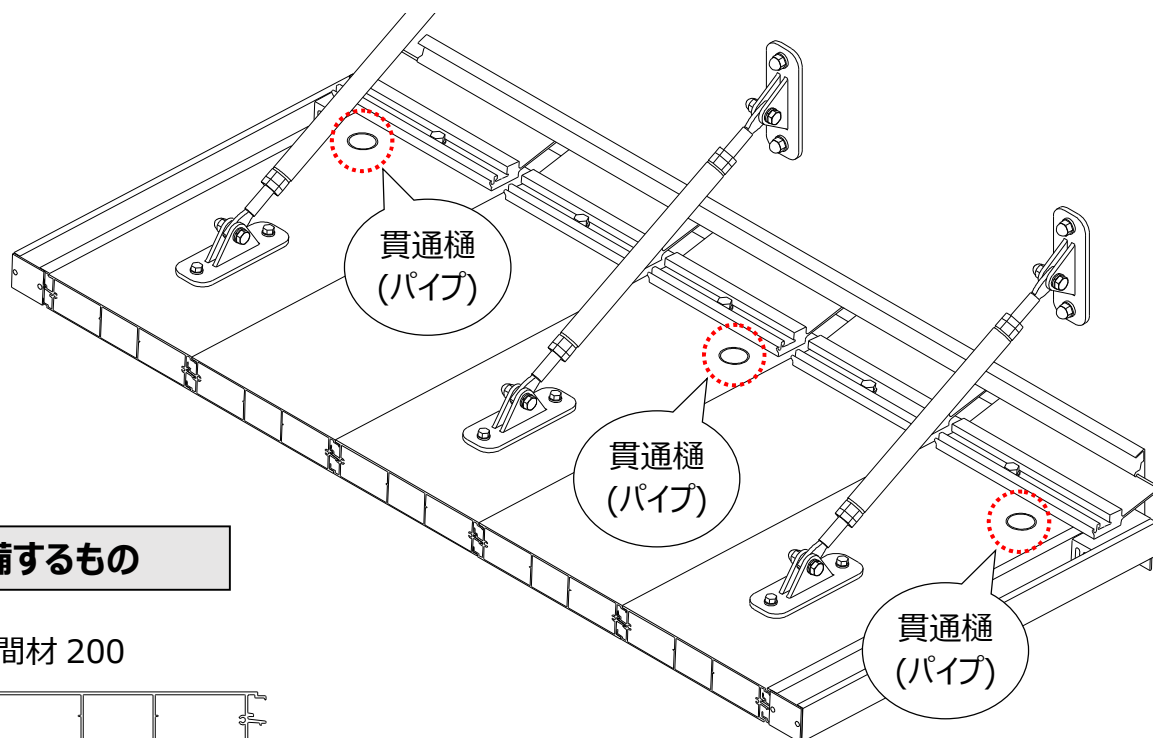
### ⚠ ステンカラー色の場合

取付けの順番は、左から 1.2.3...



### ステー付きの場合

ステーブラケット付き中間材に  
貫通樋（パイプ）が付いていますので、  
ステーピッチに合わせて割り付けてください。



### 準備するもの

- 中間材 200

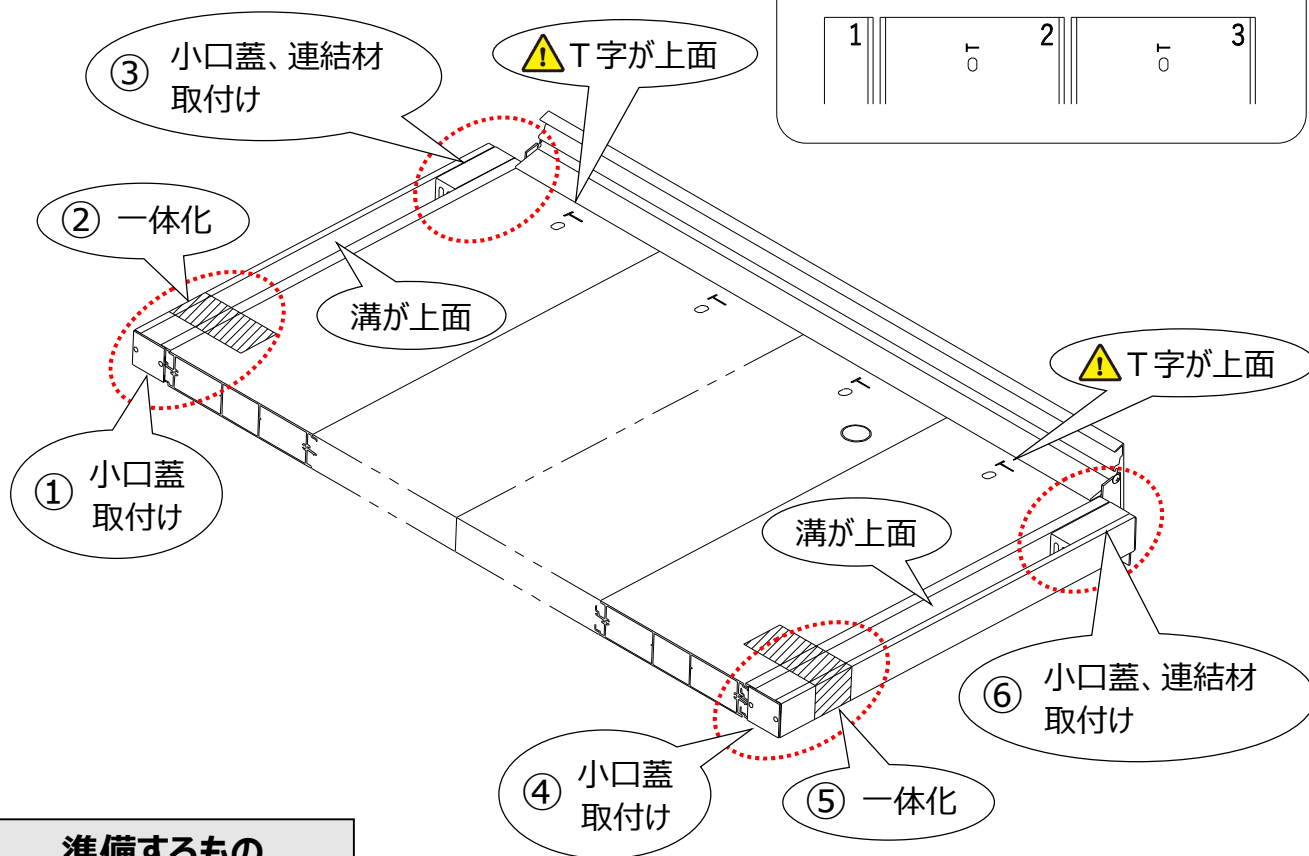


## 6. 中間材と端部材を組み立てる

中間材と端部材を組み立てます。

### ⚠ ステンカラー色の場合

取付けの順番は、左から 1.2.3...



### 準備するもの

#### 端部材の幅が 50mm の場合

- 左端部材 50



- 中間材 200



- 右端部材 50



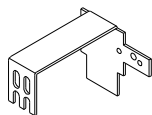
- トラストタッピンねじ 4×25



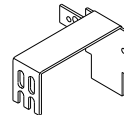
- 先端小口蓋



- 左エンド小口蓋



- 右エンド小口蓋

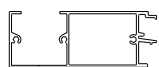


- 皿タッピンねじ 4×16



#### 端部材の幅が 100mm の場合

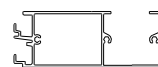
- 左端部材 100



- 中間材 200



- 右端部材 100



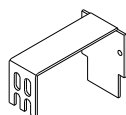
- トラストタッピンねじ 4×25



- 先端小口蓋



- エンド小口蓋



- 連結材



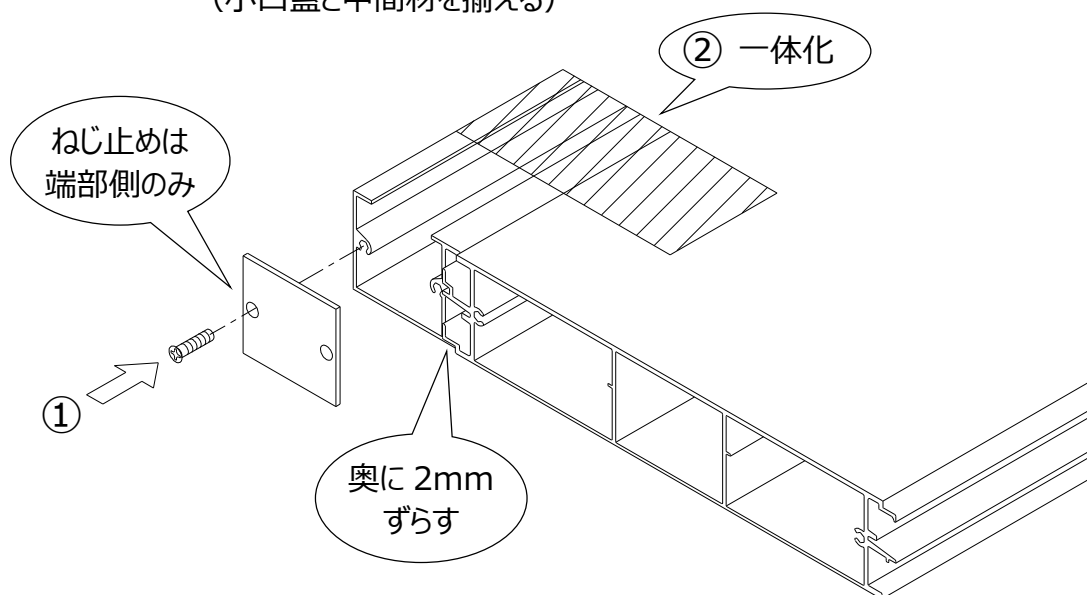
- 皿タッピンねじ 4×16



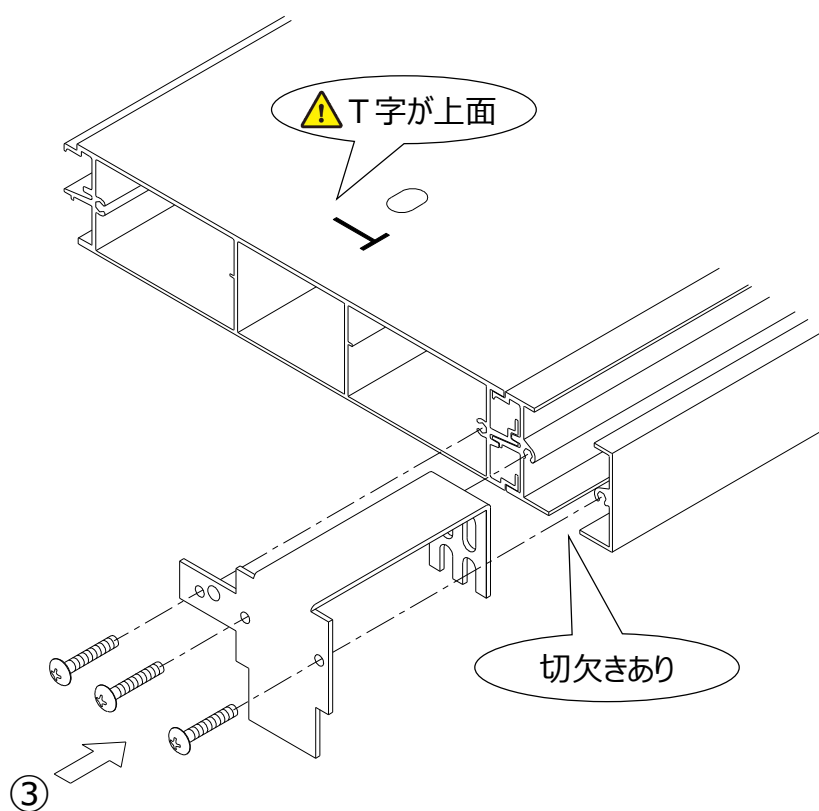
次ページへ続く⇒

## 端部材の幅が 50mm の場合

- ① 先端小口蓋の端部側のみ皿タッピンねじで取付けます。
- ② 端部材を奥に 2mm ずらして、養生テープ等で中間材と一体化します（仮止め）。  
（小口蓋と中間材を揃える）



- ③ エンド小口蓋と連結材をトラスタッピンねじで取付けます。

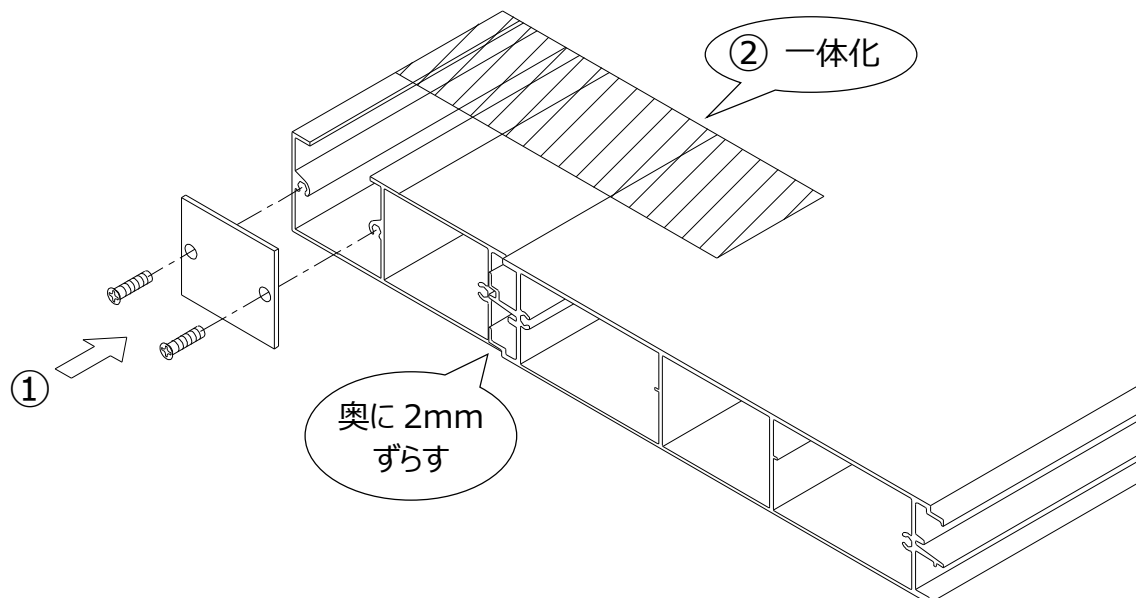


- ④⑤⑥ 右端部材と中間材を①②③の手順で組み立てます。

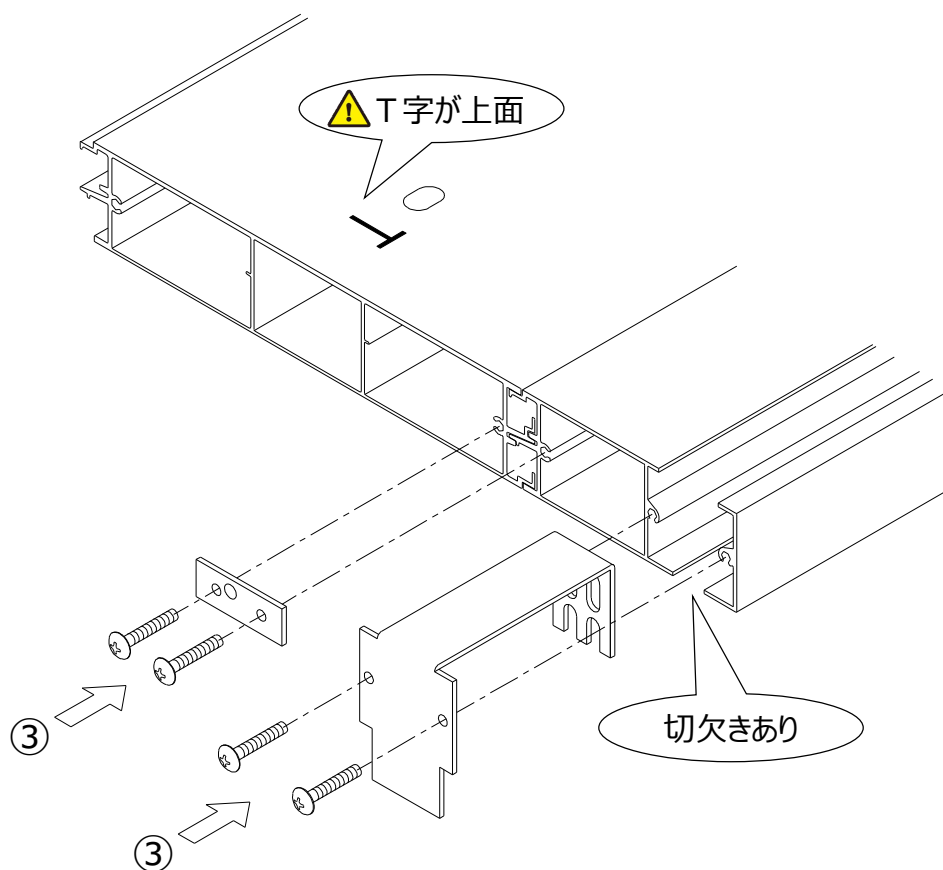


## 端部材の幅が 100mm の場合

- ① 先端小口蓋を皿タッピンねじで取付けます。
- ② 端部材を奥に 2mm ずらして、養生テープ等で中間材と一体化します（仮止め）。  
（小口蓋と中間材を揃える）



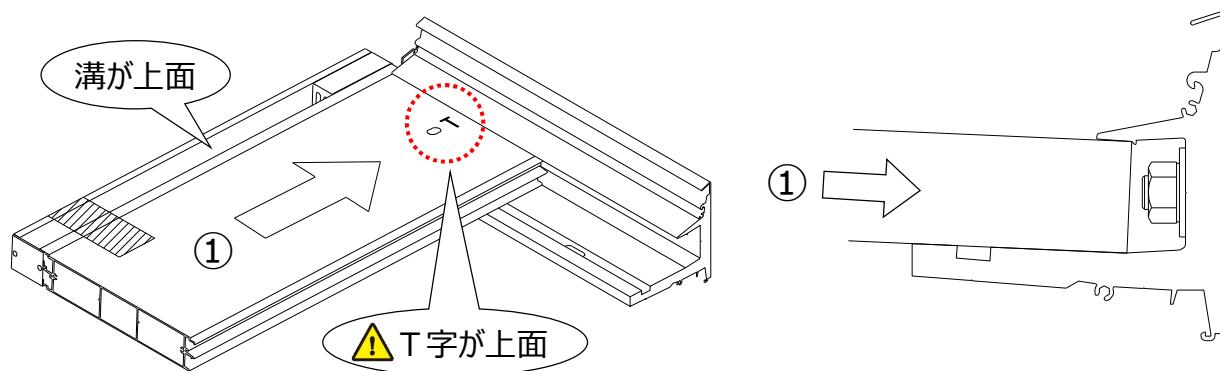
- ③ エンド小口蓋と連結材をトラスタッピンねじで取付けます。



- ④⑤⑥ 右端部材と中間材を①②③の手順で組み立てます。

## 7. 中間材・端部材を取付ける

- ① 組み立てた中間材と端部材を、壁軸材の突起に当たるまで奥まで差し込みます。



### 準備するもの

- 左端部材 50 + 中間材 200      または      左端部材 100 + 中間材 200



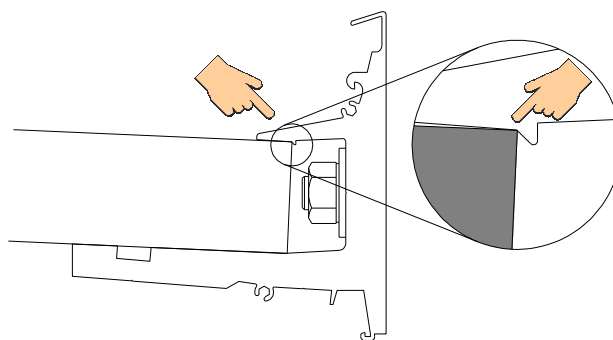
### ⚠ 注意

中間材には上下があります。

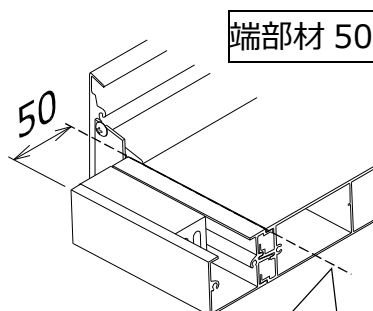
取付穴横に「**T**」の刻印がある面を上面になるように取付けてください。

**上下逆に取付けると水漏れの原因となります。**

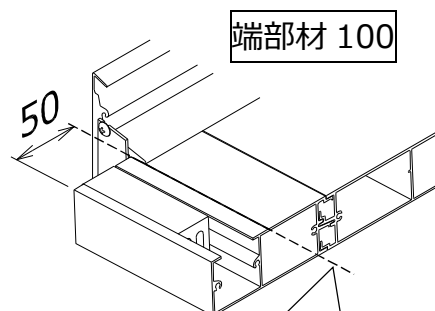
中間材と端部材が壁軸材の突起に当たっていることを確認してください。



壁軸材長さは庇幅より  
左右 50mmずつ短く  
なっていますので、  
端部材は壁軸材より  
50mm 出して  
取付けてください。

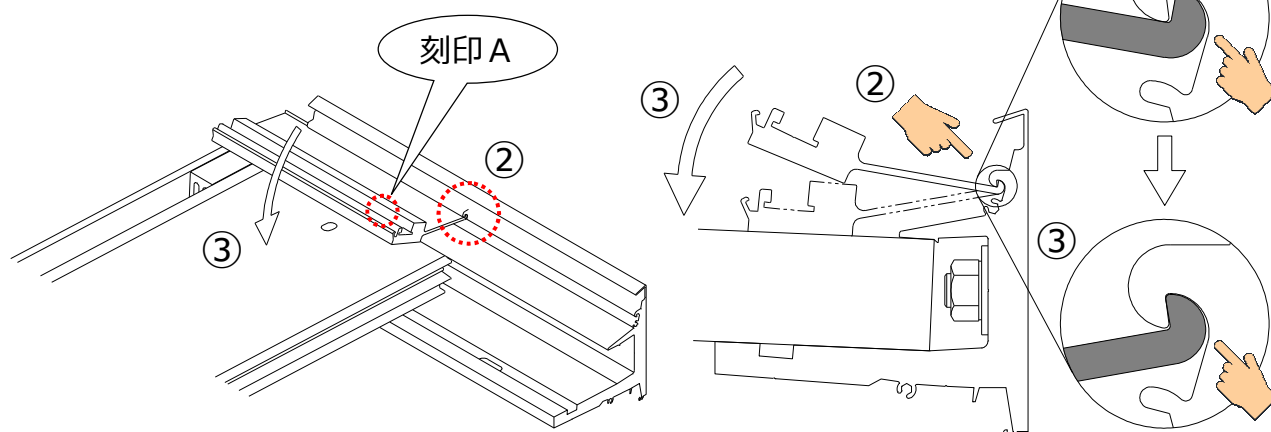


目地に合わせる

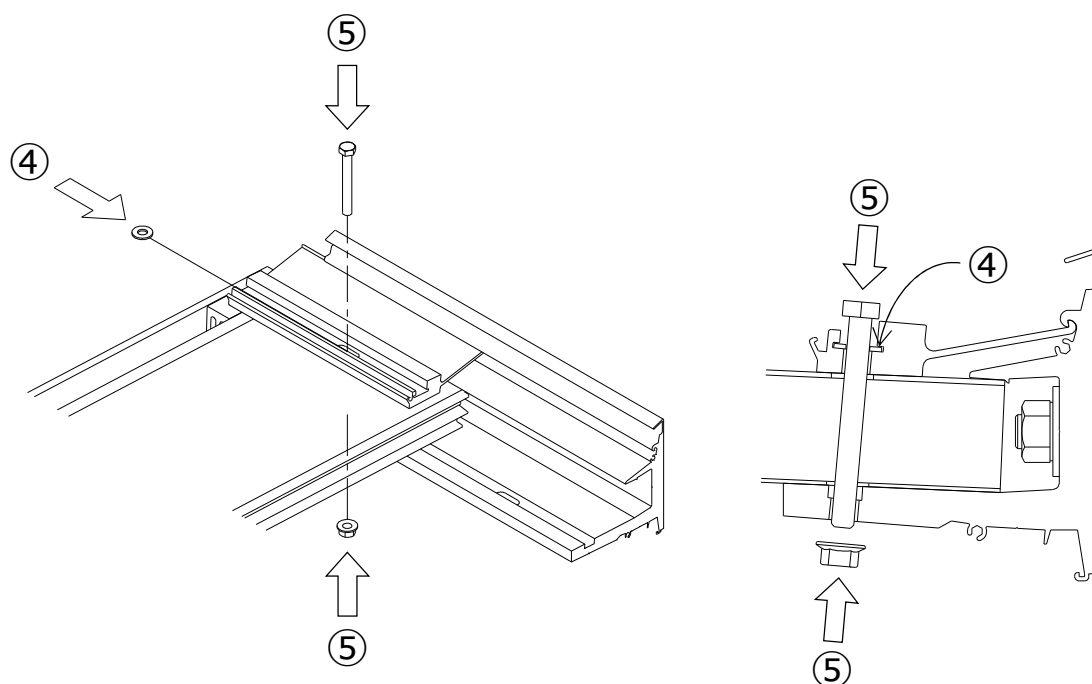


ガイド線に合わせる

- ② パネル軸材を壁軸材に引っかけて
- ③ 回転させます。



- ④ パネル軸材の溝に平座金を差し込み
- ⑤ 六角ボルト、フランジナットで締結します。

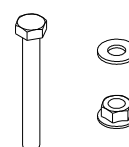


### 準備するもの

- パネル軸材  
L=220  
(刻印 A、左端部)

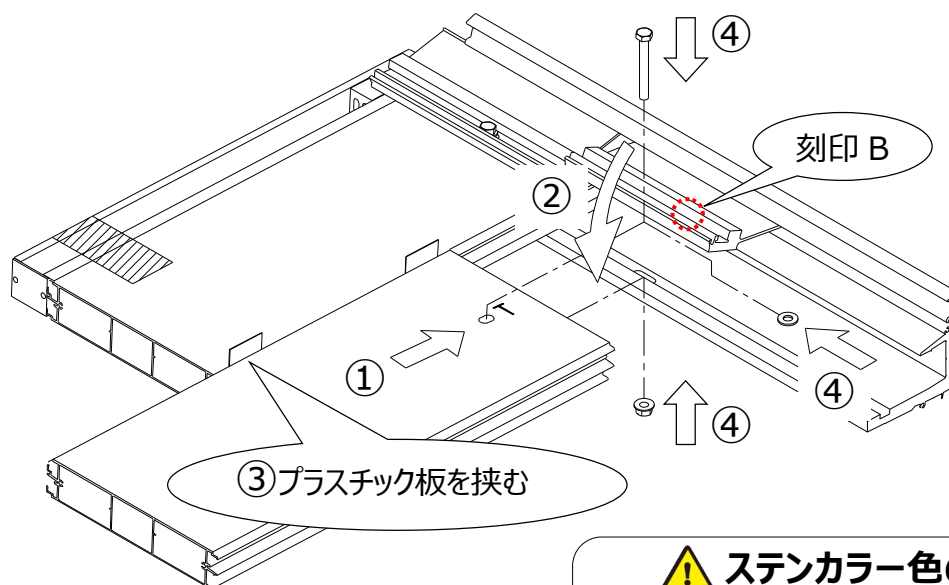


- 六角ボルト M8×75
- 平座金 M8
- フランジナット M8



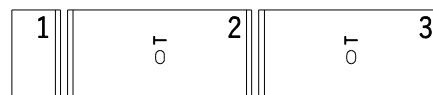
## 8. 2 本目以降の中間材・端部材を取付ける

- ① P 1 0 の手順で中間材を壁軸材に差し込みます。
- ② P 1 1 の手順でパネル軸材を壁軸材に引っかけて回転させます。
- ③ 中間材同士の目地にプラスチック板をはさみ、0.5mm の目地を設けます。  
(※) 中間材締結後に取り外して再利用してください。
- ④ パネル軸材の溝に平座金を差し込み、ボルトナットで締結します。



### ⚠ ステンカラー色の場合

取付けの順番は、左から 1.2.3...

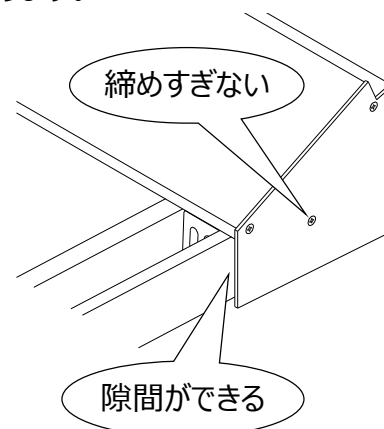


### 準備するもの

- 中間材 200
- 中間材 + 右端部材 50  
または   
中間材 + 右端部材 100
- パネル軸材  
L=180 (刻印 B)  
L=220 (刻印 C、右端部)
- プラスチック板 t0.5
- 六角ボルト M8×75
- 平座金 M8
- フランジナット M8

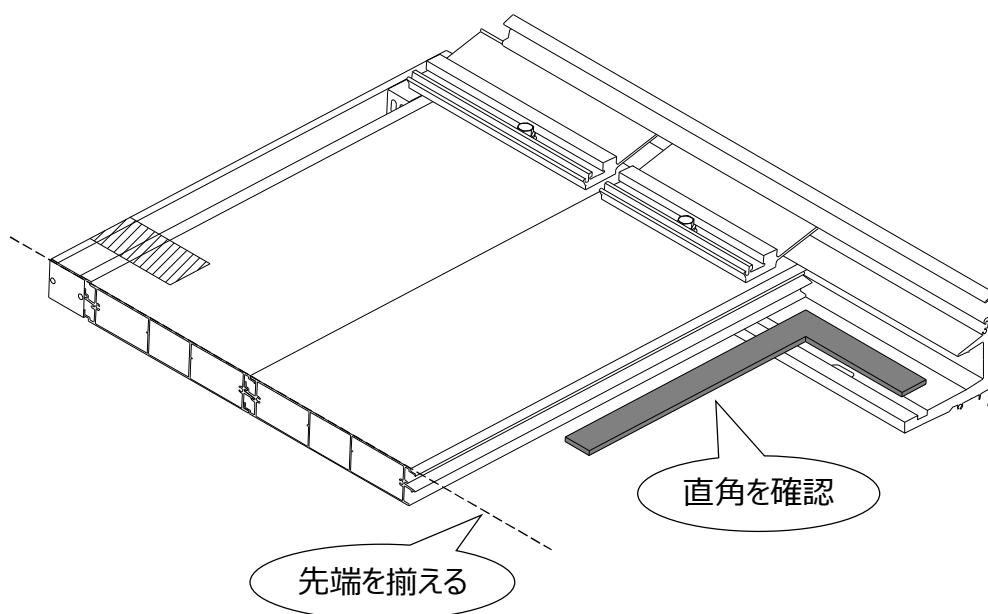
### ⚠ 注 意

既定の目地を設けないと、端部材と小口蓋(P.22)との間に隙間ができる場合があります。



隙間ができた場合は、小口蓋を取付けた後、隙間に防水シールを施してください。

- ※ 中間材は、壁軸材と直角（90°）で取付けられていることを確認しながら取付けてください。
- ※ 中間材は、先端側が揃っていることを確認しながら取付けてください。



### ⚠ 注意

中間材を奥まで差し込んでいなかったり、壁軸材と直角に取付けられていないと、先端側が揃わなくなる場合があります。

**先端側が揃っていない場合、先端見切の取付けに支障がでることがありますので、直角と先端が揃っていることを確認しながら取付けてください。**



中間材の先端を揃える

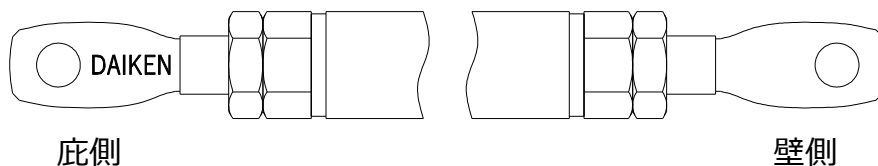


直角が出ていない  
先端が揃っていない

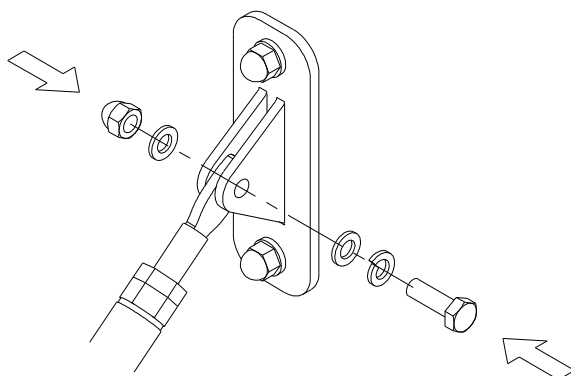


## 9. ステーを取付ける（ステー付きのみ）

ステーの標準の向きは、「DAIKEN」刻印側が底側、刻印なし側が壁側です。



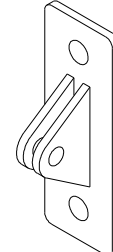
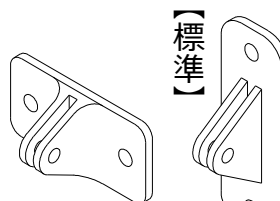
① 壁側のブラケットにステーを取付けます。



壁側のブラケット（標準）は  
出幅により形状が異なります。

出幅 D  
1600mm 以下

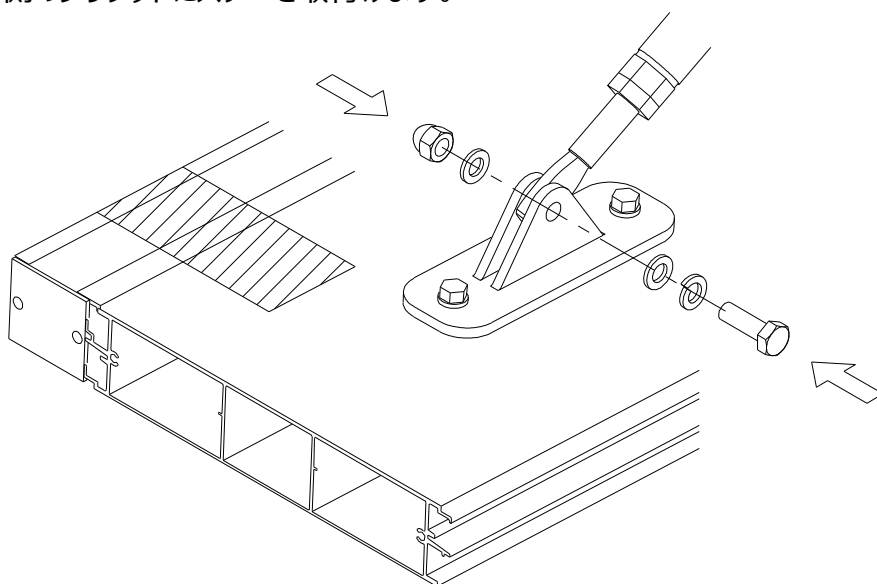
出幅 D  
1600mm 超え



H130

H140

② 中間材側のブラケットにステーを取付けます。



### 準備するもの

● ステー



● 六角ボルト

● 平座金

● ばね座金

● 袋ナット



出幅 D  
1600mm 以下

M8×25

M8

M8

M8

出幅 D  
1600mm 超え

M10×30

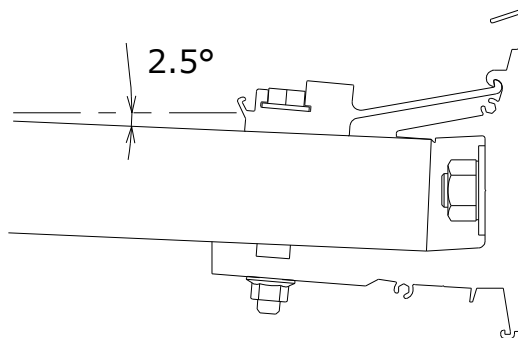
M10

M10

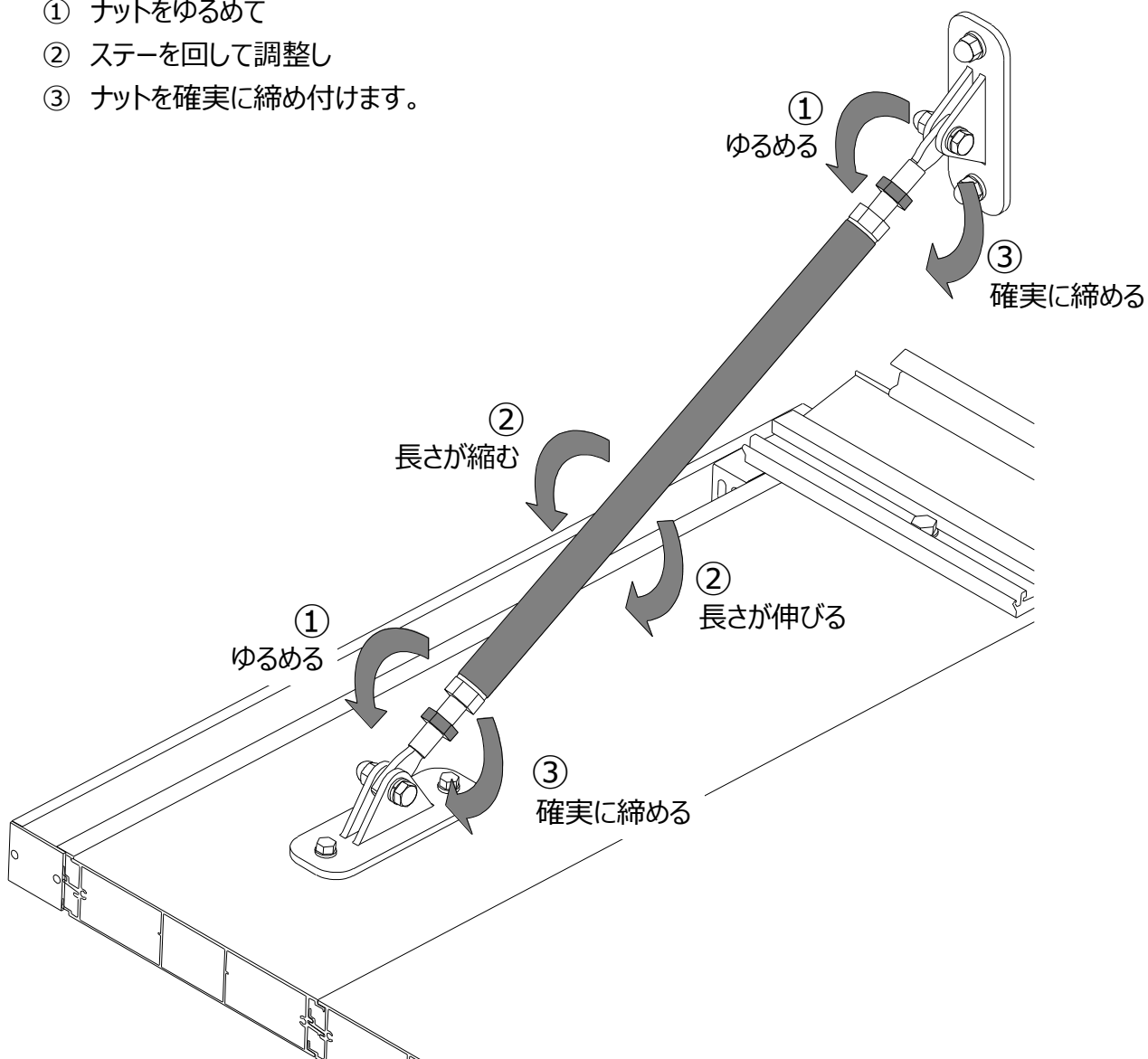
M10

**⚠ 底の先端のレベルが出ていない時は、ステーの長さを調整してください。**

標準の屋根勾配は 2.5°です。



- ① ナットをゆるめて
- ② ステーを回して調整し
- ③ ナットを確実に締め付けます。

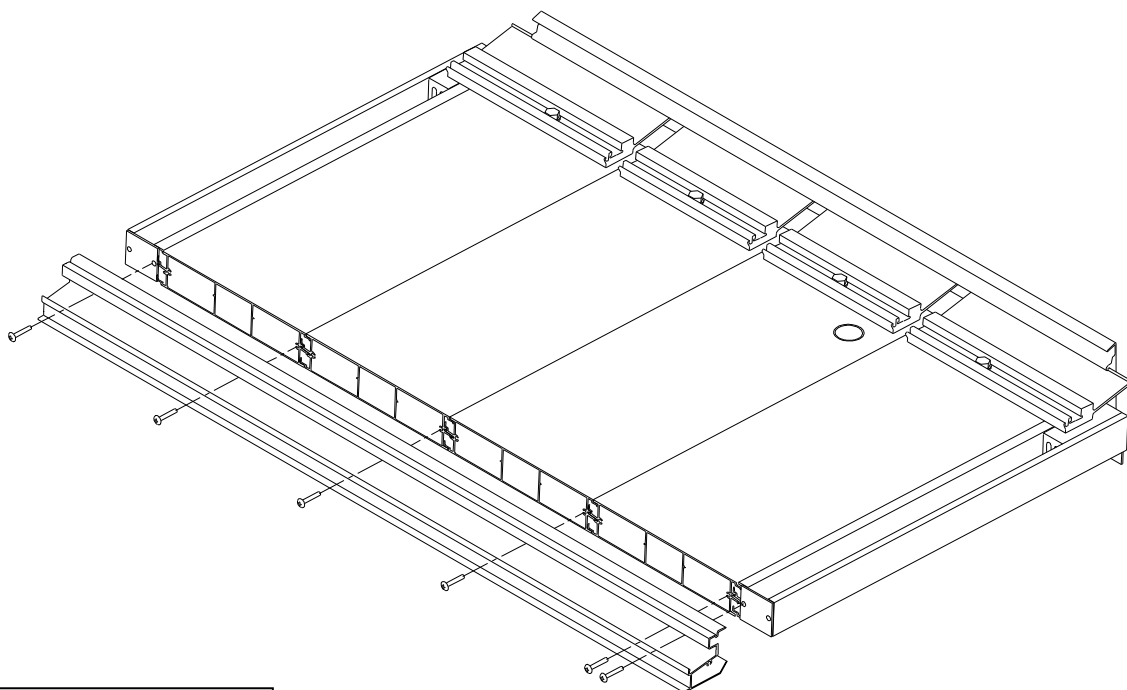


**⚠ 注意**

P 1 4 の手順でステーの向きを逆（DAIKEN 刻印側を壁側）につけてしまうと「ゆるめる・締める」、「長さが伸びる・縮む」の回転方向が逆になります。

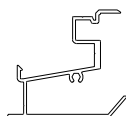
## 10. 先端見切（下）を取付ける

中間材の先端が揃っていることを確認し、先端見切（下）をトラスタッピンねじで取付けます。



### 準備するもの

● 先端見切（下）

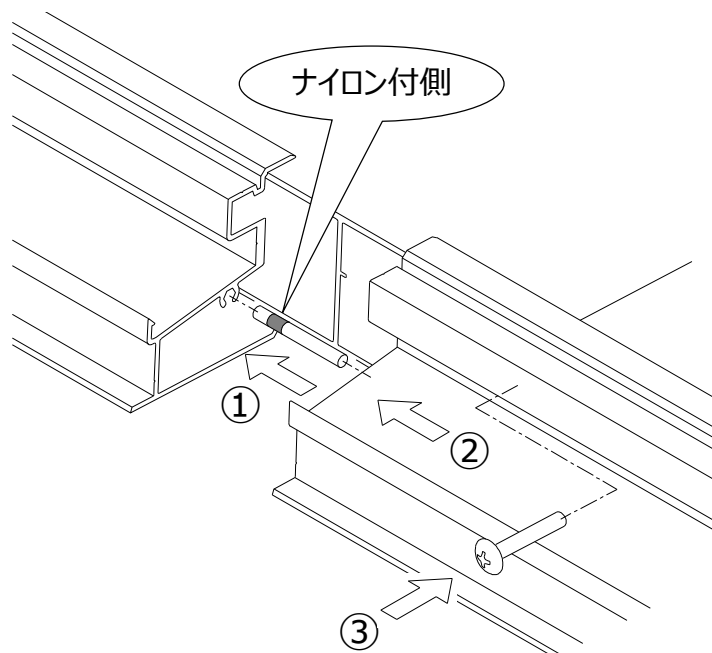


● トラスタッピンねじ 4×25



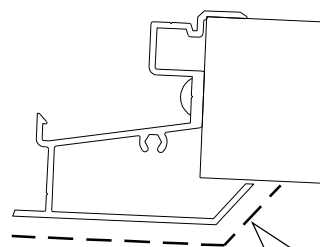
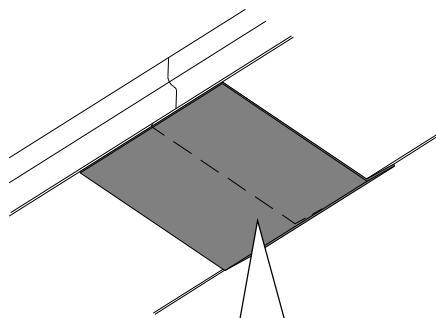
### 先端見切（下）を2本以上取付ける場合

- ① 先端見切に「ジョイントピン」のナイロン付側を差し込み、
- ② 先端見切同士を突き合わせて、
- ③ トラスタッピンねじで取付けます。





- ④ ヘラ等を使用して、目地部に止水テープをシワやスキマの無いように圧着します。



止水テープ  
貼付範囲

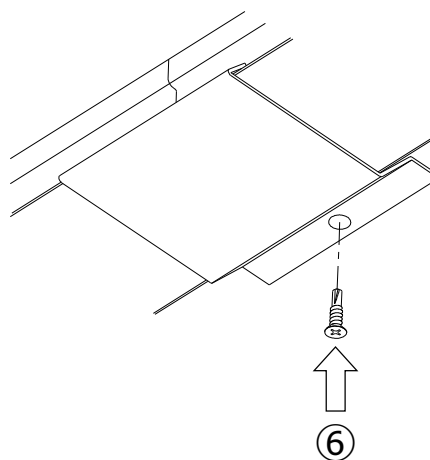
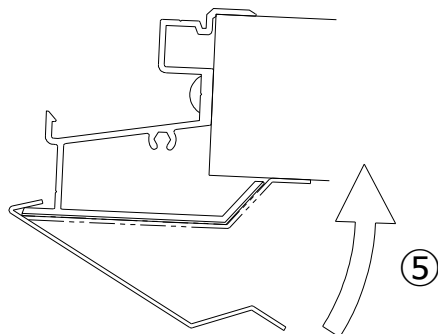
- 止水テープ貼付範囲の汚れや油分を確実に除去  
(止水テープ貼付範囲より広い範囲)
- ヘラ等を使用し、シワやスキマの無いように圧着



### 注 意

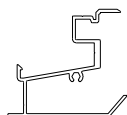
**止水テープが確実に圧着できていないと、水漏れすることがあります。**

- ⑤ カバー材を先端に引っかけて回転させ  
⑥ 皿ドリルねじで取付けます。



### 準備するもの

- 先端見切 (下)



- ジョイントピン



- ③ トラストッピンねじ 4×25



- 止水テープ W=50



- ジョイント部カバー材  
L=60

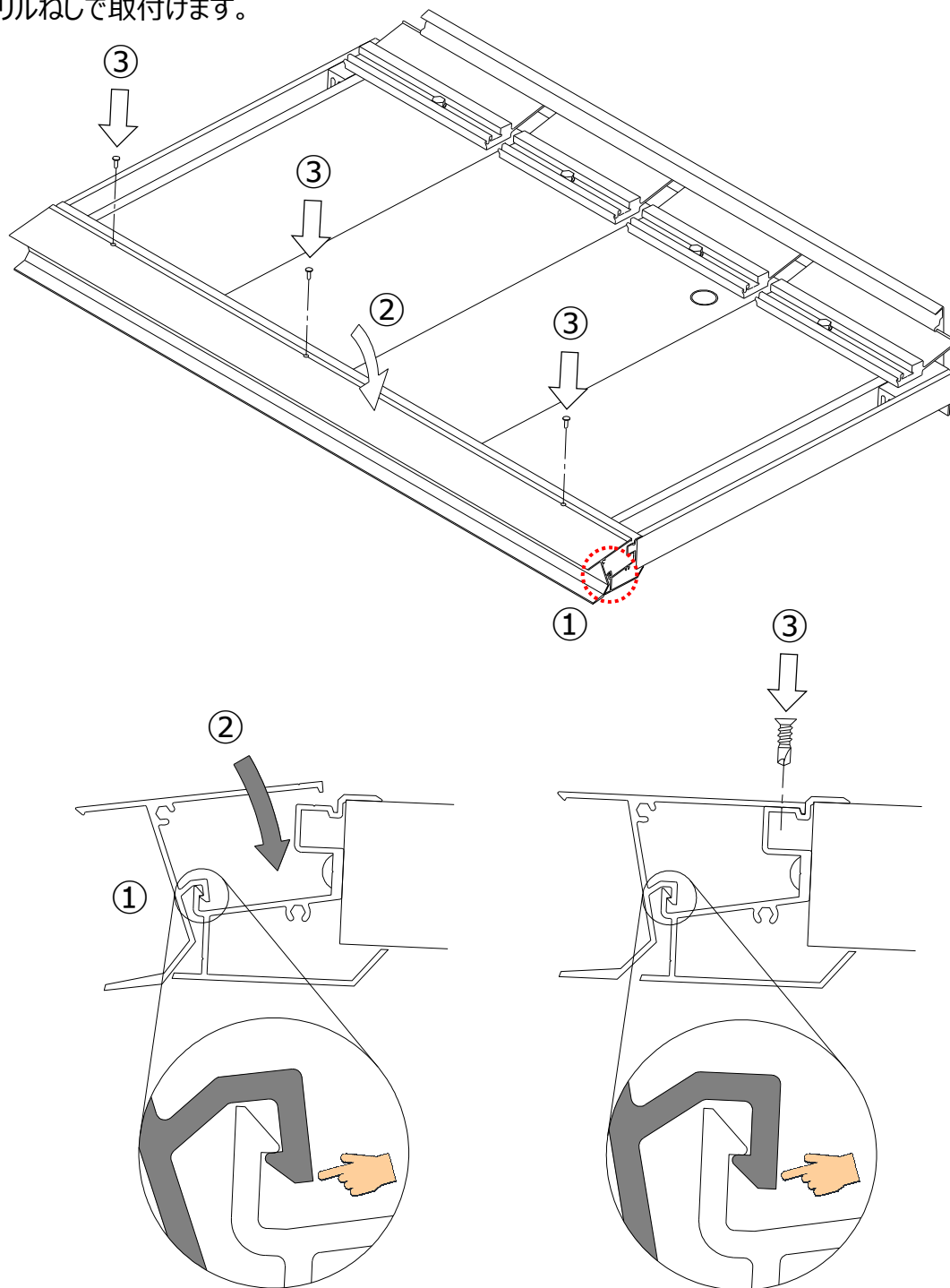


- ⑥ 皿ドリルねじ 4×13



## 11. 先端見切（上）を取付ける

- ① 先端見切（上）を先端見切（下）に引っかけて、
- ② 回転させて、
- ③ 皿ドリルねじで取付けます。



### 準備するもの

- 先端見切（上）

RS-KB2

RS-KB2R

RS-KB2S

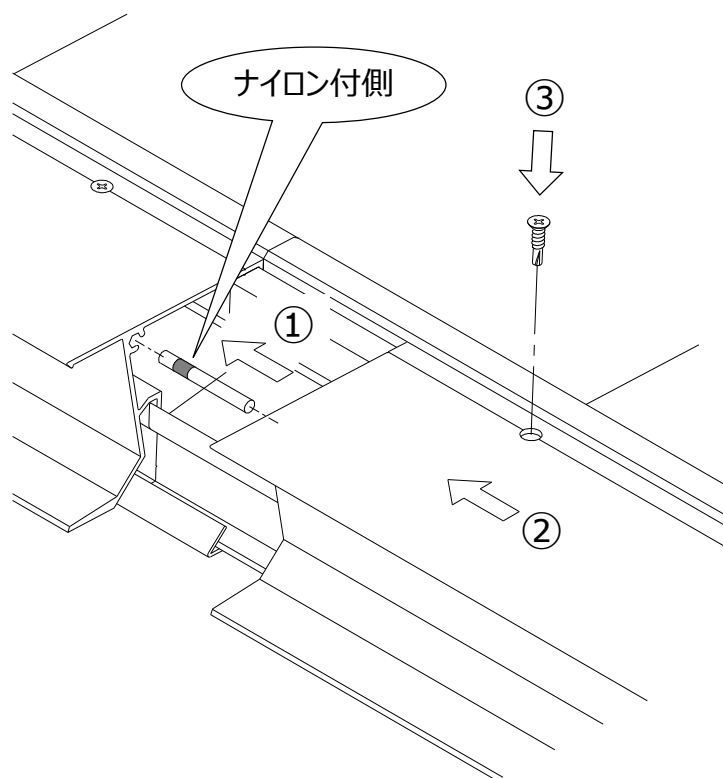


- 皿ドリルねじ 4×13



## 先端見切（上）を 2 本以上取付ける場合

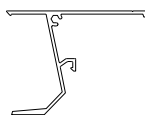
- ① 先端見切に「ジョイントピン」のナイロン付側を差し込み、
- ② 先端見切同士を突き合わせて、
- ③ 皿ドリルねじで取付けます。



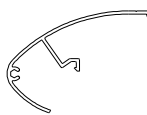
## 準備するもの

- 先端見切（上）

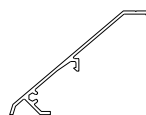
RS-KB2



RS-KB2R



RS-KB2S



- ジョイントピン

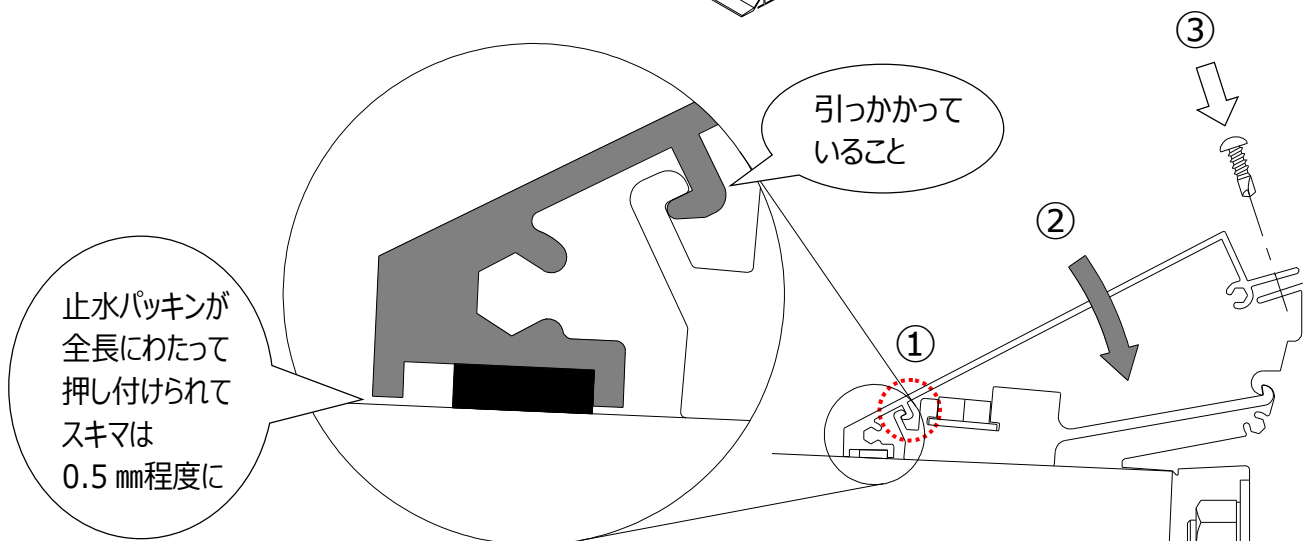
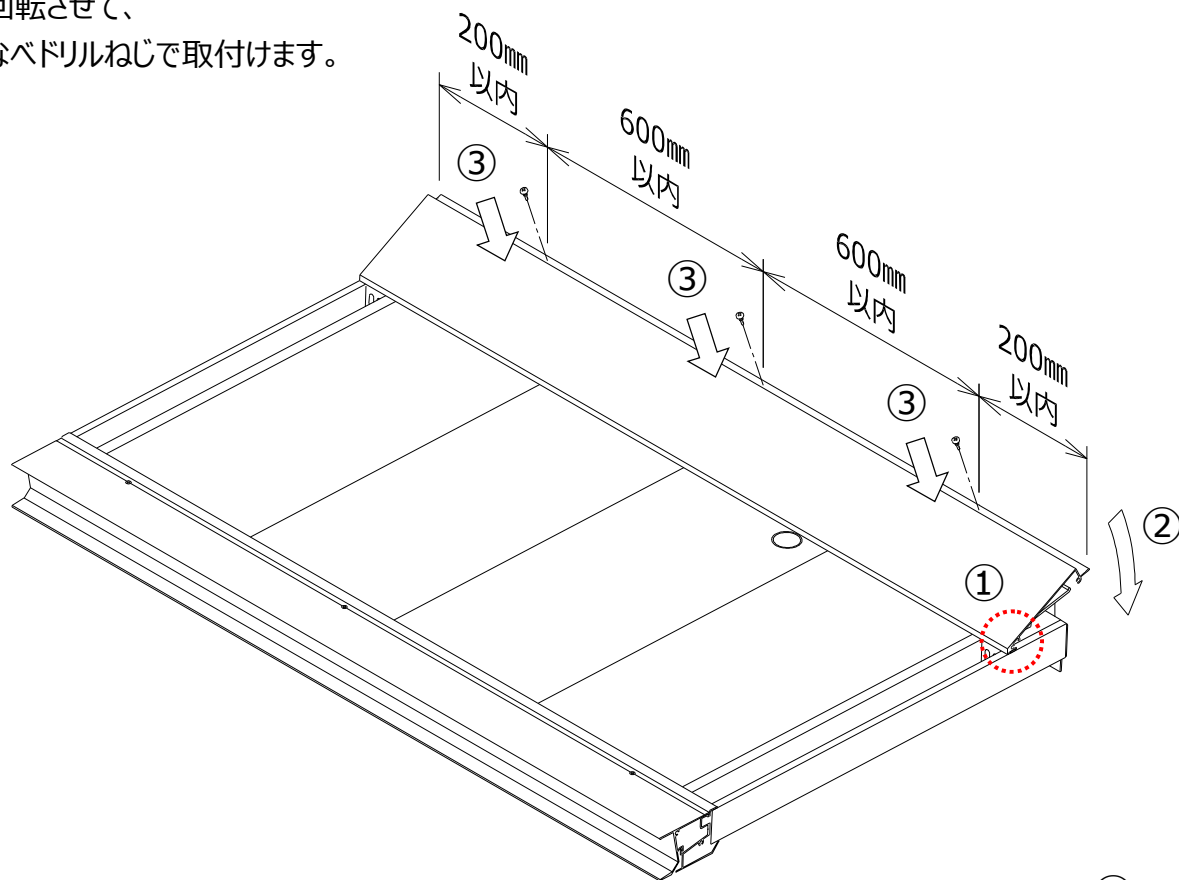


- 皿ドリルねじ 4×13



## 12. カバー材（大）を取付ける

- ① カバー材（大）をパネル軸材に引っかけて、
- ② 回転させて、
- ③ なべドリルねじで取付けます。

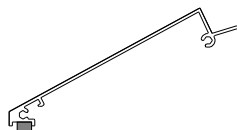


注 意

カバー材が引っかかっていないと、止水パッキンが機能せず、水漏れすることがあります。

### 準備するもの

- カバー材（大）

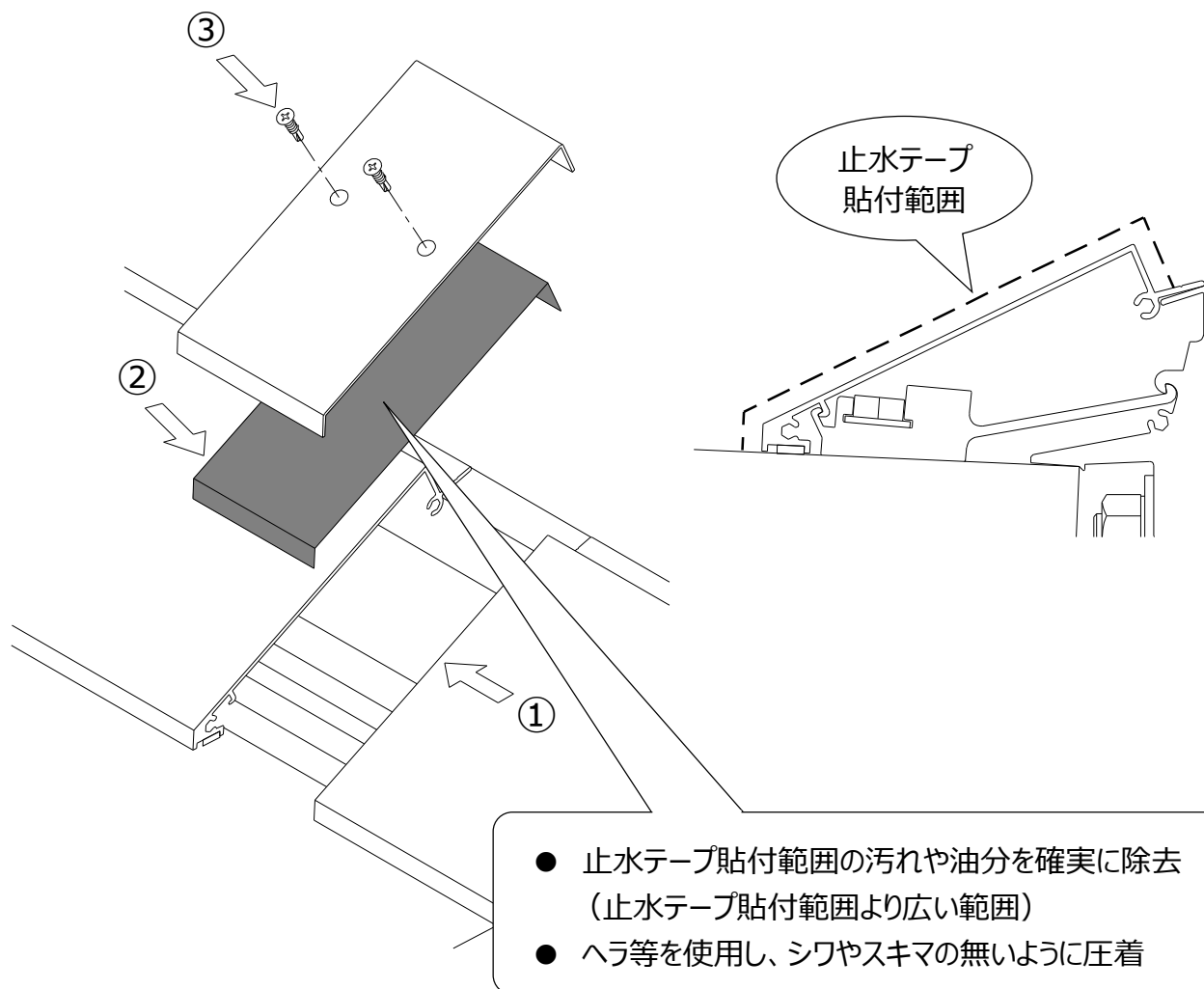


- なべドリルねじ 4×13



## カバー材（大）を2本以上取付ける場合

- ① カバー材（大）を突き合わせ、
- ② 目地部に止水テープを圧着し、（※）ヘラ等を使用して、シワやスキマの無いように
- ③ カバー材を皿ドリルねじで取付けます。

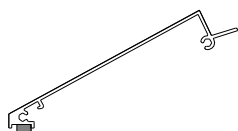


### 注 意

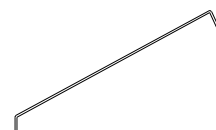
止水テープが確実に圧着できていないと、水漏れすることがあります。

### 準備するもの

- カバー材（大）



- ジョイント部カバー材  
L=60



- 止水テープ W=50

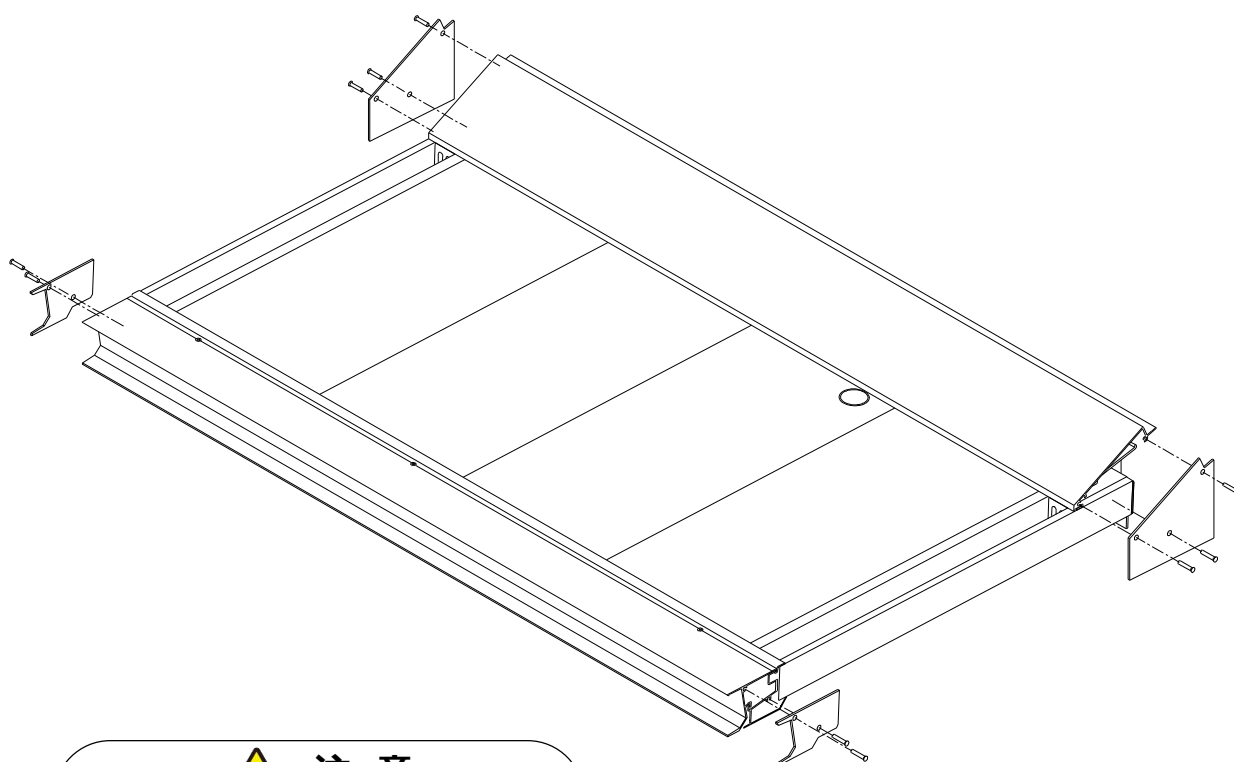


- 皿ドリルねじ 4×13



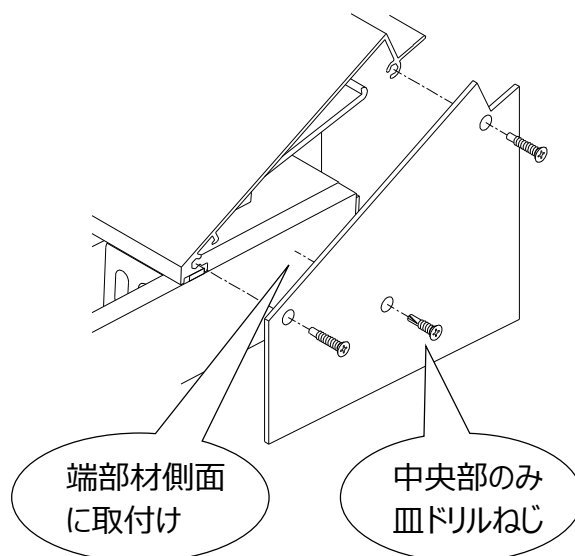
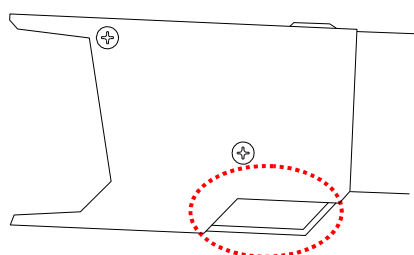
## 13. 小口蓋を取付ける

小口蓋を皿タッピンねじと皿ドリルねじ<sup>(※)</sup>で取付けます。 (※) 壁軸材小口蓋の中央部のみ。



### ⚠ 注意

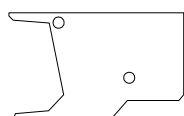
小口蓋の排水穴は  
ふさがないでください。  
**ふさいでしまうと、  
水漏れすることがあります。**



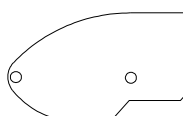
### 準備するもの

- 先端見切小口蓋

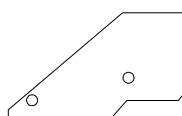
RS-KB2



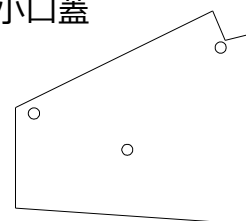
RS-KB2R



RS-KB2S



- 壁軸材小口蓋



- 皿タッピンねじ 4×16

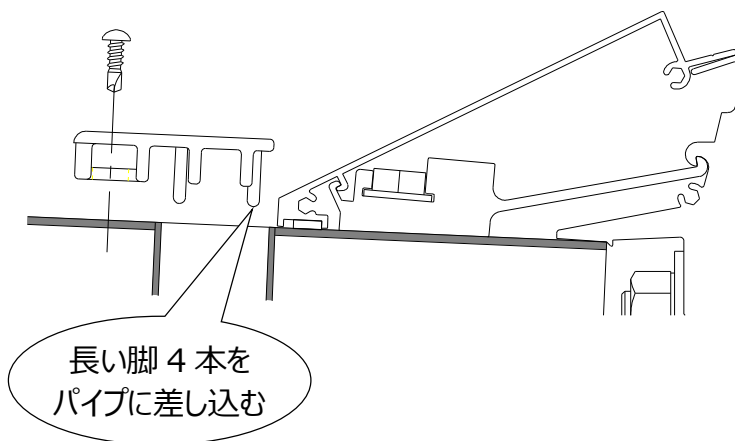
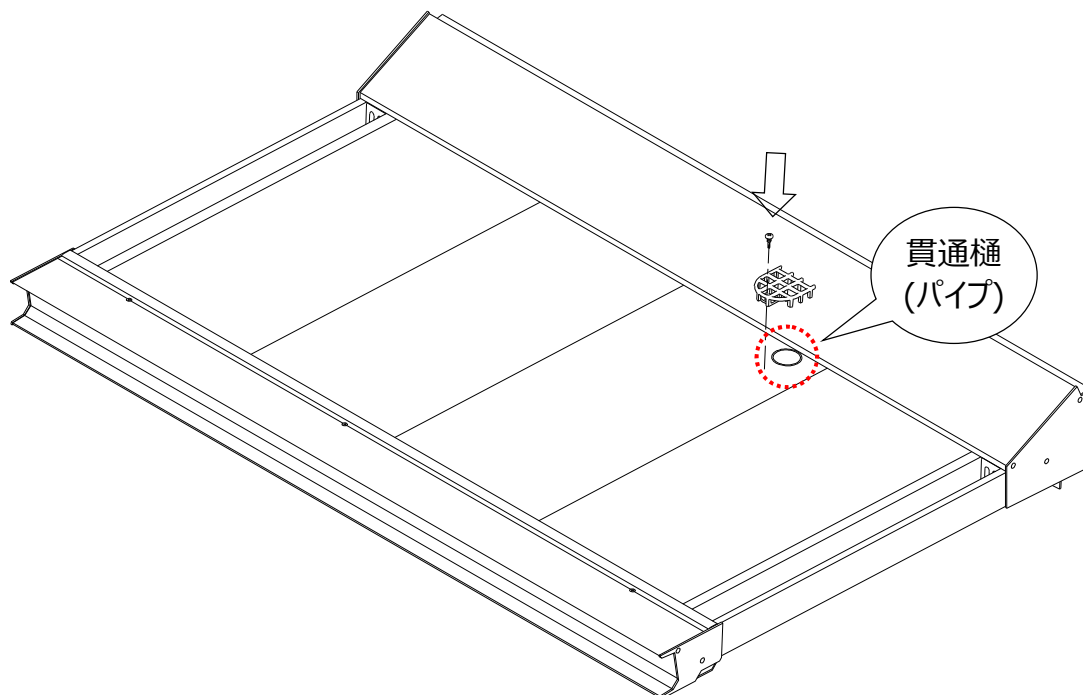


- 皿ドリルねじ 4×13



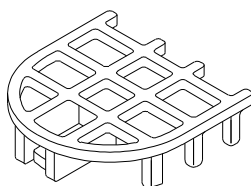
## 14. ストレーナーキャップを取付ける

ストレーナーキャップを中間材の貫通樋（φ30 パイプ）部になべドリルねじで取付けます。



### 準備するもの

- ストレーナーキャップ

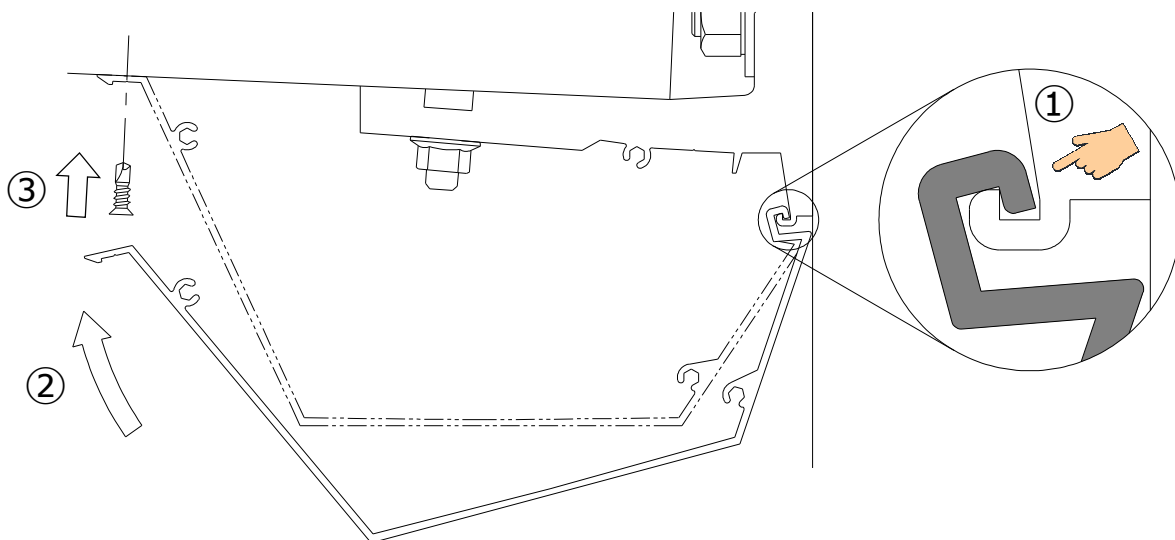
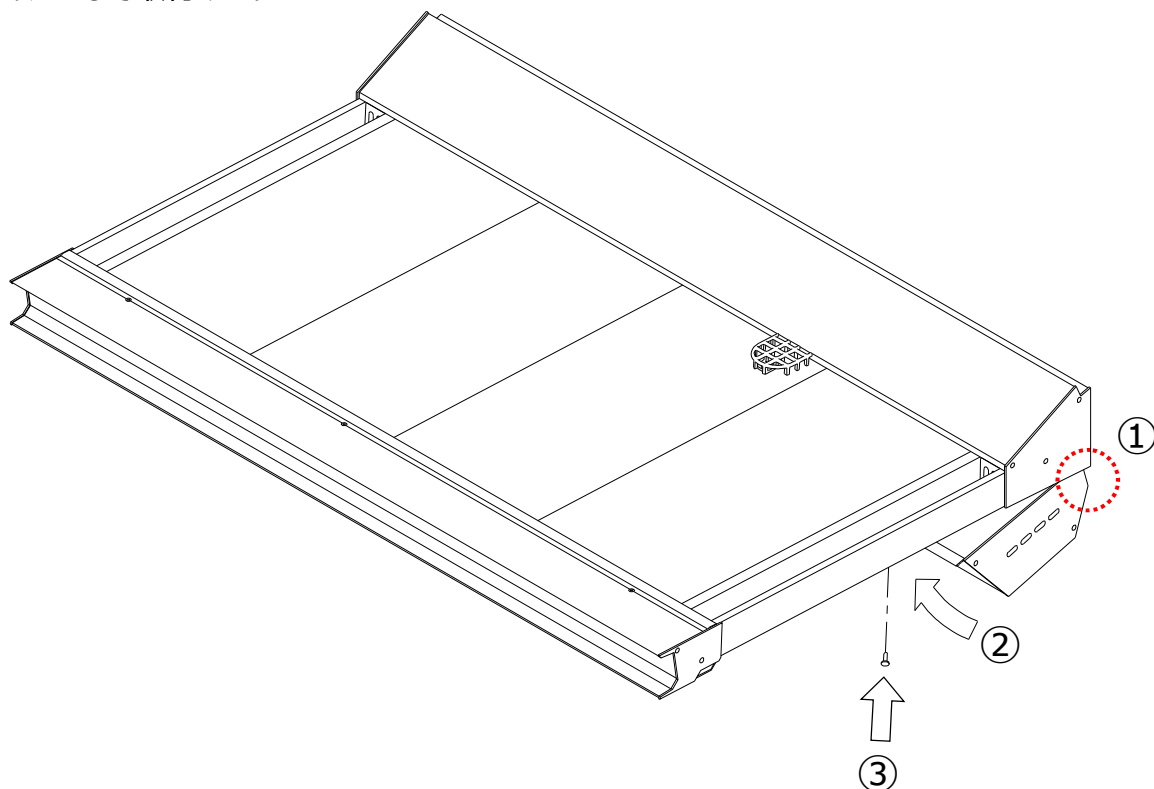


- なべドリルねじ  
4×13



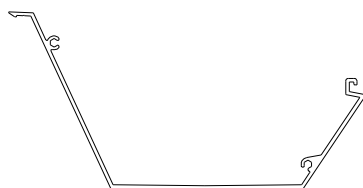
## 15. 壁軸樋材を取付ける

- ① 壁軸樋材を壁軸材に引っかけて、
- ② 回転させて、
- ③ 皿ドリルねじで取付けます。



### 準備するもの

- 壁軸樋材  
(小口蓋つき)



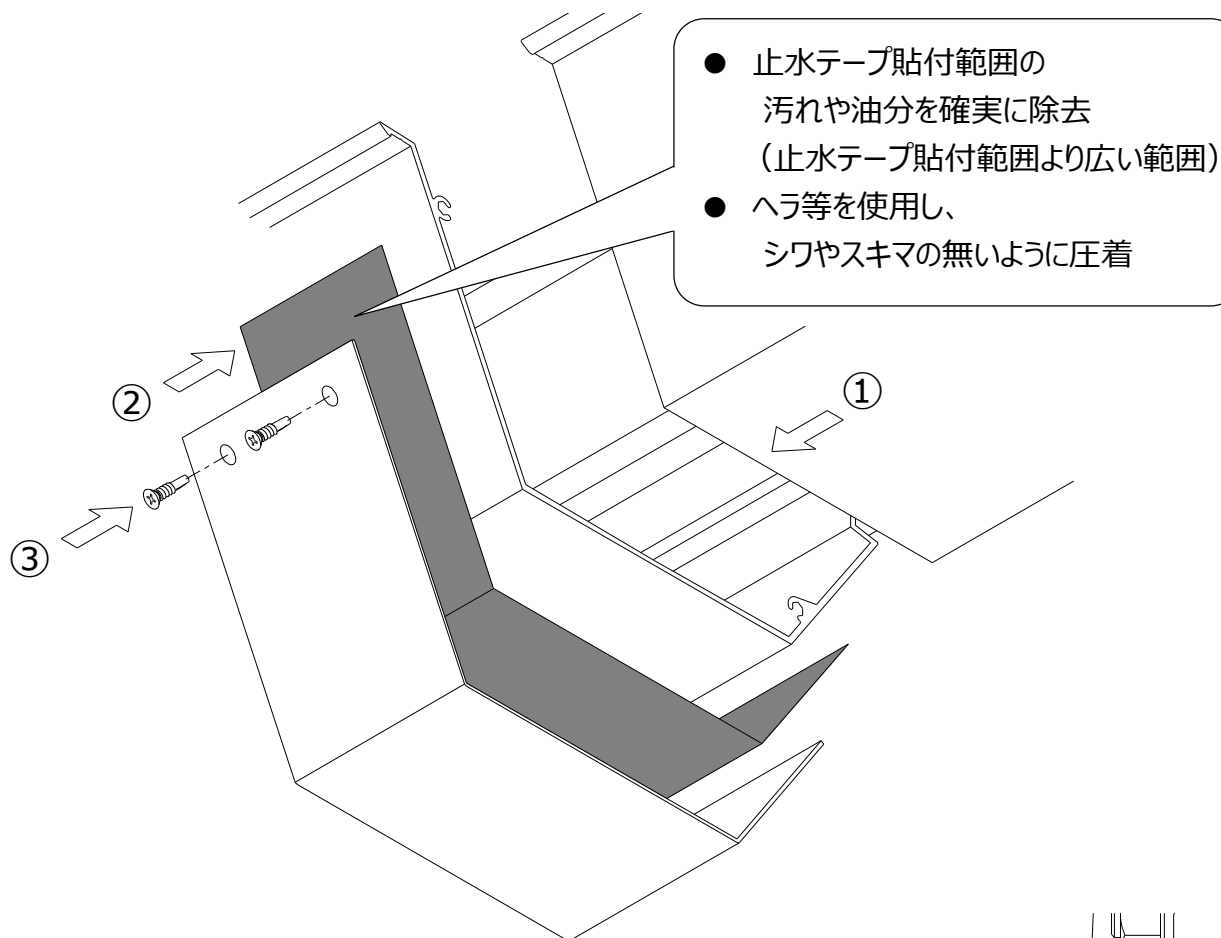
- 皿ドリルねじ 4×13





## 壁軸樋材を 2 本以上取付ける場合

- ① 壁軸樋材を突き合わせて皿ドリルねじで取付け、
- ② 目地部に止水テープを圧着し、(※) ヘラ等を使用して、シワやスキマの無いように
- ③ カバー材を皿ドリルねじで取付けます。



### ⚠ 注意

止水テープが確実に  
圧着できていないと、  
水漏れすることがあります。

止水テープ  
貼付範囲

### 準備するもの

- 壁軸樋材

- 止水テープ  
W=50

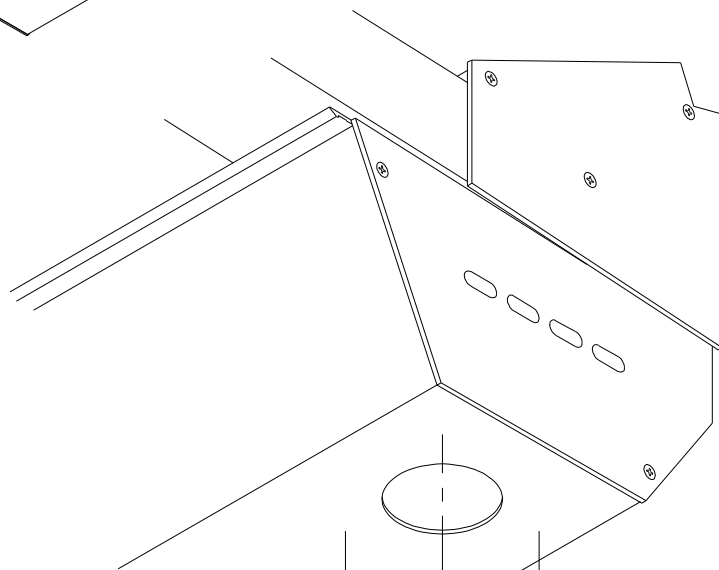
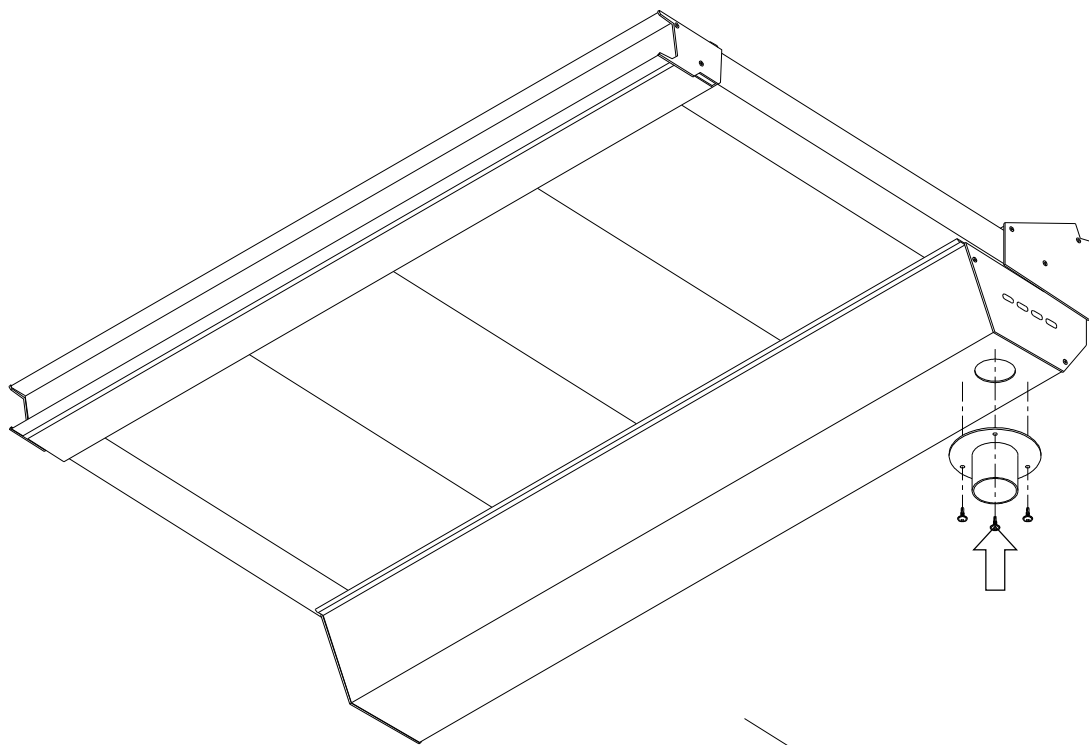
- ジョイント部  
カバー材  
L=60

- 皿ドリルねじ 4×13



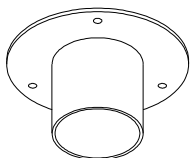
## 16. 落し口を取付ける

落し口を壁軸樋材の穴あき部にシンワッシャドリルねじで取付けます。

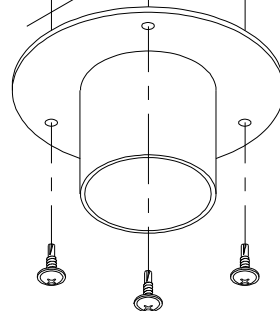


### 準備するもの

- 落し口



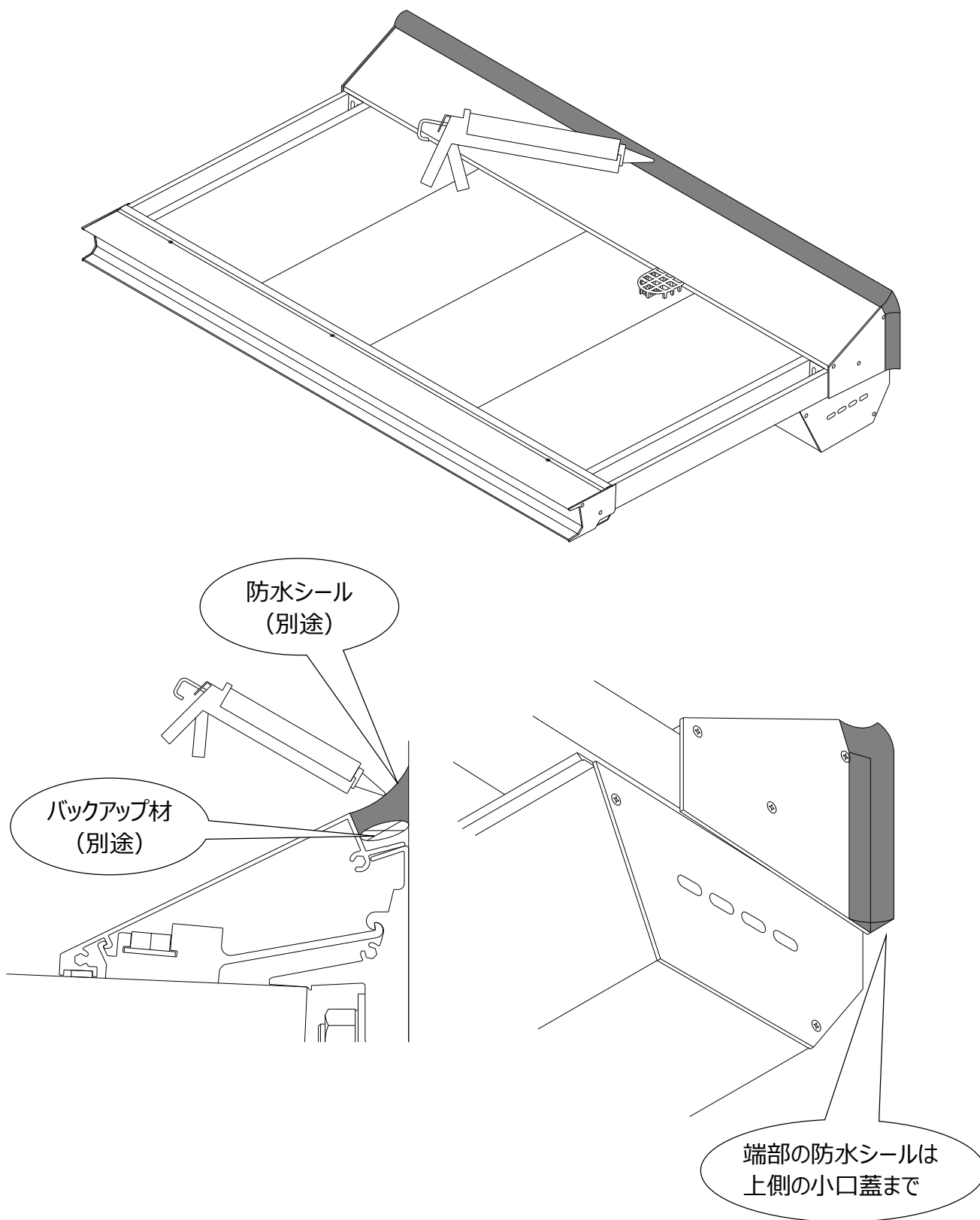
- シンワッシャドリルねじ  
4×13  
(パッキンつき)



パッキンつき  
ドリルねじ

## 17. 防水シール工事（別途）

壁軸材の上部、端部に防水シールを施します。



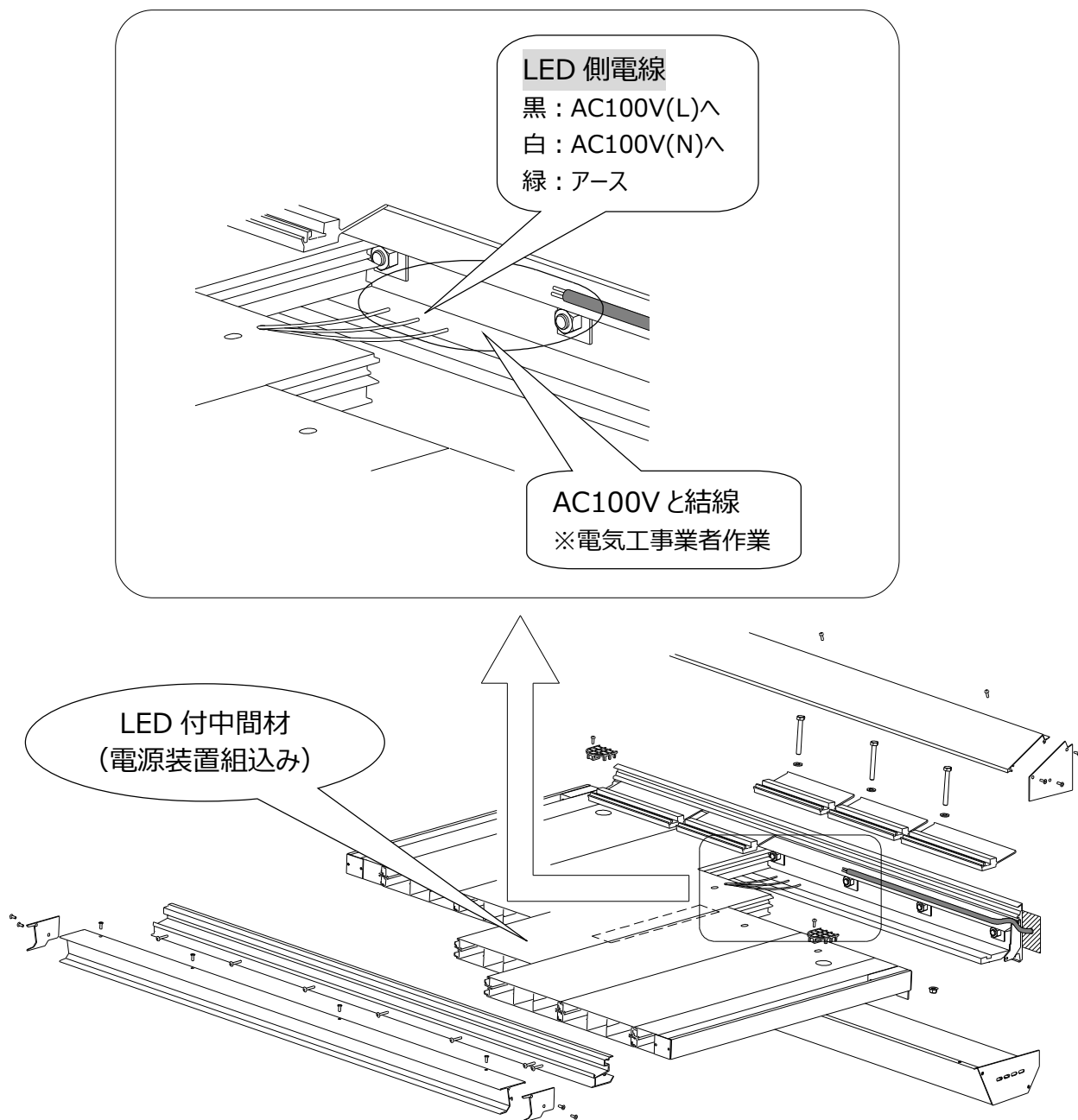
### 準備するもの

- バックアップ（別途）
- 防水シール（別途）

### ⚠ 注意

- ☑ 照明器具に水をかけないでください。
- ☑ 入力電圧は 100V を守ってください。
- ☑ 正規の施工方法以外での取付けや、改造等を行わないでください。
- ☑ 電気配線工事は必ず専門業者（有資格者）に依頼してください。  
無資格者の電気工事は禁止されています。

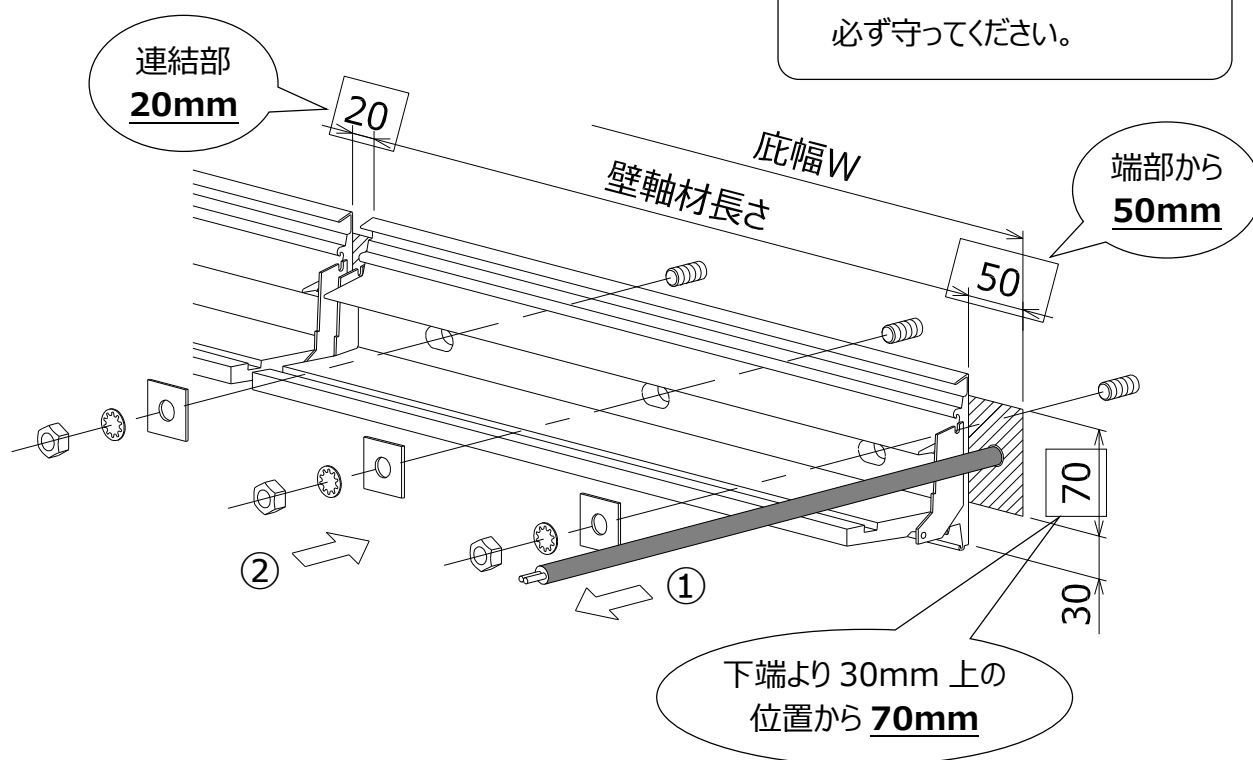
### 接続図



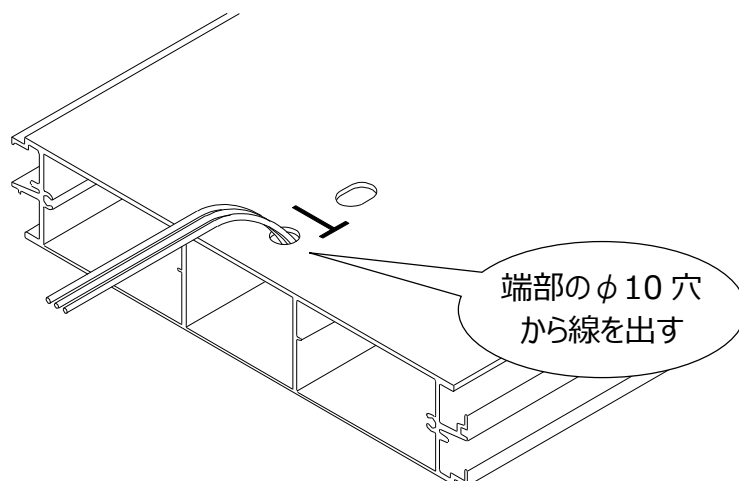
- ① 下図の範囲で外壁から電線（AC100V）を出し、
- ② P 5 の手順で壁軸材を取付けます。

### ⚠ 注意

外壁から電線を出す位置は必ず守ってください。

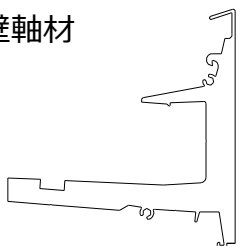


- ③ 中間材の  $\phi 10$  穴から LED 側電線を出します。

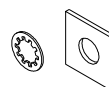


### 準備するもの

- 壁軸材

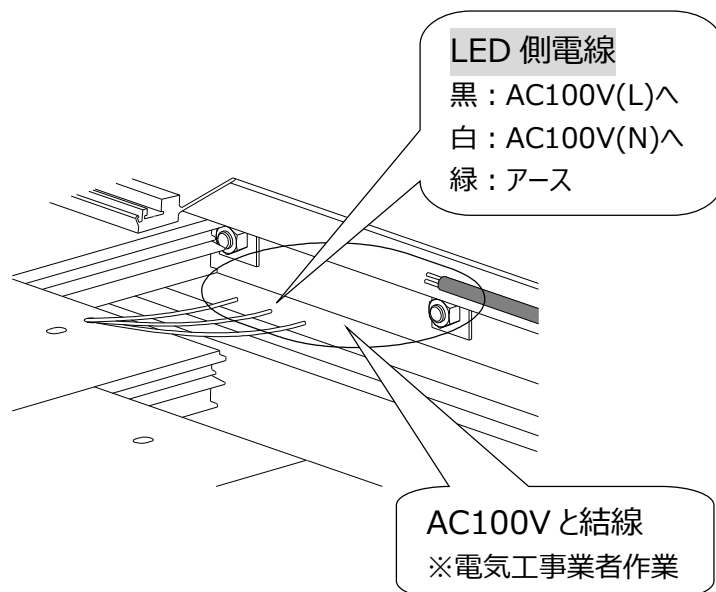


- LED 付中間材
- 角座金  $\square 32 \times 2.3$
- 歯付座金 M12
- 六角ナット M12 (別途)
- 電線 (別途)



次ページへ続く⇒

④ L E D付中間材の電線と結線します。

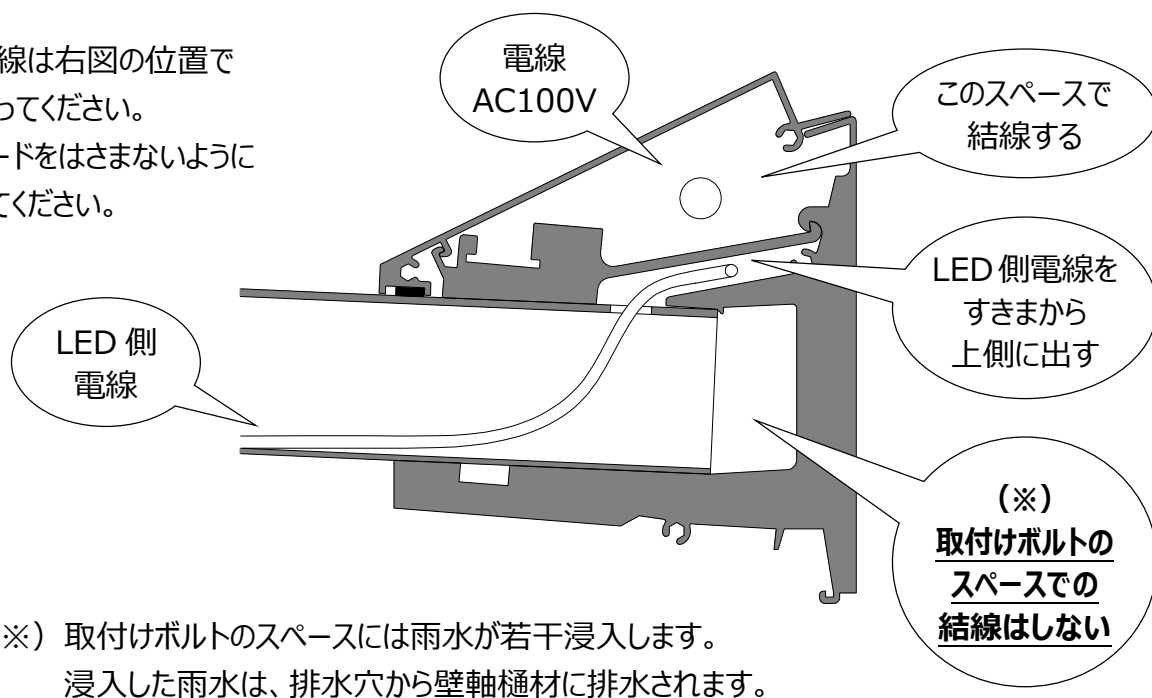


**重要**

- ・LED 照明が点灯することを確認してください。
- ・点灯しない場合は、接続不良、断線を確認してください。

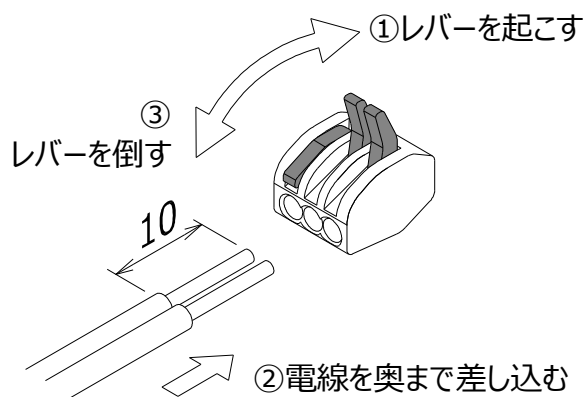
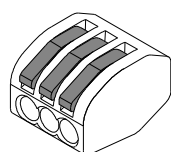
**注意**

- ・配線は右図の位置で行ってください。
- ・コードをはさまないようにしてください。



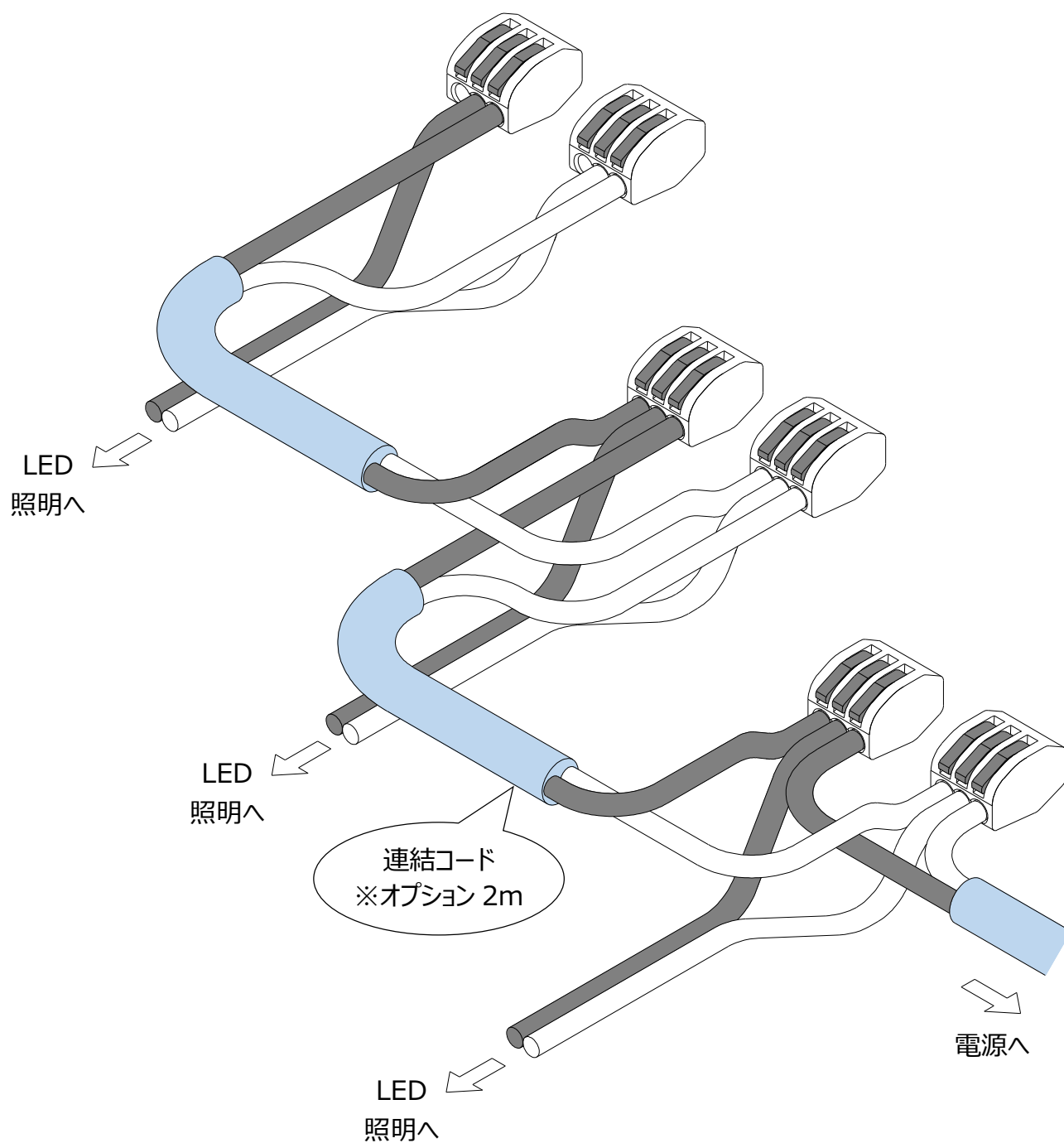
**準備するもの**

- 結線用コネクタ



## LED 照明を連結する場合

LED 照明を連結する場合は、下図のように接続します。



## **施工確認チェックシート**

P.3 以降の施工手順中の重要なポイントをまとめていますので、ご確認ください。

| 項目                       | チェック | 内容                                                                             | ページ                  |
|--------------------------|------|--------------------------------------------------------------------------------|----------------------|
| 壁軸材<br>ステーブラケット<br>取付ボルト |      | ボルト出しの長さは規定寸法ですか？<br>【壁軸材】30mm<br>【ステーブラケット】出幅1600mm以下：15mm<br>出幅1600mm超え：20mm | P.3<br>～<br>P.4      |
| 壁軸材                      |      | 壁面の出入りは調整しましたか？                                                                | P.5                  |
|                          |      | 取付ボルトは、規定数量通り確実に取付けましたか？                                                       |                      |
|                          |      | 水平の確認は出来ていますか？                                                                 |                      |
| 中間材                      |      | 貫通樋付き中間材は1400mm以内で割り付けましたか？                                                    | P.6                  |
|                          |      | 【ステンカラーの場合】左から順番通り取付けましたか？                                                     | P.6、7、12             |
|                          |      | 取付穴横の「T字」刻印が上面になっていますか？                                                        | P.7～9                |
|                          |      | 壁軸材の突起に当たっていますか？                                                               | P.10                 |
|                          |      | 端部材は壁軸材より50mm出して取付けましたか？                                                       |                      |
|                          |      | 中間材と壁軸材が直角（90°）であることを確認しましたか？                                                  | P.13                 |
|                          |      | 中間材の先端が揃っていますか？                                                                |                      |
| パネル軸材                    |      | 壁軸材に引っかかっていますか？                                                                | P.11                 |
| ステー                      |      | 庇の先端のレベルは出ていますか？                                                               | P.15                 |
| 先端見切<br>カバー材（大）          |      | 【2本以上取付ける場合】<br>止水テープは確実に圧着しましたか？                                              | P.17<br>P.21<br>P.25 |
| 小口蓋                      |      | 先端見切小口蓋の排水穴をふさいでいませんか？                                                         | P.22                 |
| 防水シール                    |      | 指示箇所は全て防水シールを施しましたか？                                                           | P.3、4、27             |
| ねじ・ボルト類                  |      | 規定箇所に正しく取付けされていますか？                                                            | 全般                   |